

2022(令和4)年度 宝塚市地域の経済動向調査報告書

宝塚商工会議所

経営発達支援事業(2022年4月～2027年3月)

【調査の概要】

(1) 目的

経営発達支援計画に基づき実施するもので、小規模事業者への相談事業や地域経済の活性化への取組みに活用することを目的に、国や県・市等関係機関が調査・提供する各種統計資料のデータを抽出・加工・分析し管内独自の統計データを作成、公表する。

(2) 調査手法

「RESAS」(地域経済分析システム)を活用し、地域の経済動向分析を行う。

(3) 調査項目

(ア) 「地域経済循環マップ・生産分析」→ 何で稼いでいるか等を分析

(イ) 「まちづくりマップ・From-to 分析」→ 人の動き等を分析

(ウ) 「産業構造マップ」→ 産業の現状等を分析

→上記の分析を総合的に分析し、事業計画策定支援等に反映する。

目 次 -1-

1. 総論と各論

総論① 人口

② 産業

各論① 人口増減 地域間流動

② 産業特性（製造業）

③ 産業特性（小売業）

④ 産業特性（農 業）

⑤ 産業特性（林 業）

⑥ 産業特性（水産業）

⑦ 観光

⑧ 雇用

⑨ 医療・福祉

⑩ 地方行政

2. 地域経済循環マップ

地域経済循環マップ 兵庫県宝塚市
（比較1）兵庫県伊丹市
（比較2）兵庫県全体

目 次 -2-

3. From-To分析（日本人観光客）

- ① 滞在人口の月別推移 2021年4時、10時、14時、20時
- ② 滞在人口の地域別構成割合 都道府県から市区町村 2021年6月平日4時、10時、14時、20時
- ③ 世代別滞在人口 2022年6月4時、10時、14時、20時
- ④ 居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合と推移
- ⑤ 延べ宿泊者数の推移 性別、参加形態別、宿泊日数別
- ⑥ 宿泊者の属性や傾向
- ⑦ 500mメッシュ単位の人口集計 2021年3月平日、休日
- ⑧ 宝塚市地域の目的地一覧 自動車、公共交通
- ⑨ 滞在者・宿泊者情報

4. From-To分析（外国人観光客）

- ① 国地域別訪問者数と推移 すべての目的、観光・レジャー目的
- ② 入国空港、出国空港内訳 兵庫県
- ③ 滞在地域内訳 兵庫県
- ④ 昼夜間人口
- ⑤ 外国人滞在密度
- ⑥ 国籍別消費額
- ⑦ 部門別消費額の構成割合と小売業構成割合
- ⑧ 宝塚市を訪問する外国人の傾向

目 次 -3-

5. 稼ぐ力分析（第1次産業）

- ① 品目別農業産出額 全体、生乳、野菜
- ② 農業経営者の平均年齢、年齢構成
- ③ 経営耕地面積 経営体の割合、農地流動化率
- ④ 農業経営体の法人化率
- ⑤ 農業生産関連事業の実施状況
- ⑥ 海面漁獲物等販売金額
- ⑦ 兵庫県宝塚市の農業データ一覧

6. 稼ぐ力分析（第2，3次産業）

- ① 企業単位での企業数、従業者数、売上高、付加価値額
- ② 事業所単位の事業所数、従業者数
- ③ 産業別特化係数の付加価値額順、労働生産性準、従業員数準
- ④ 企業単位での労働生産性
- ⑤ 製造業の事業所単位での労働生産性
- ⑥ 製造業における製造品出荷額と従業者数の変遷
- ⑦ 主要産業の動向

総論① 人口

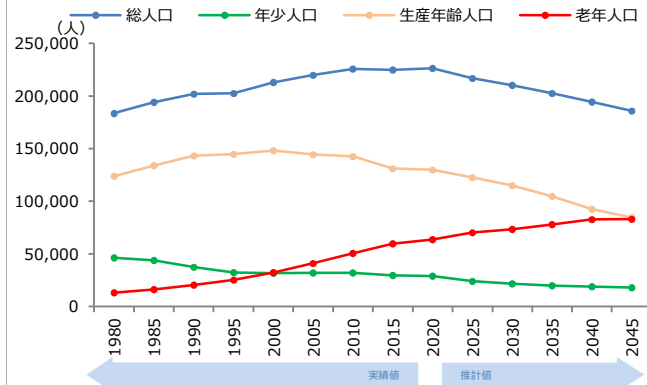
地域を考える基礎的な条件となる人口について、年齢階級別に推移を概観します。

兵庫県宝塚市

①人口推移

人口マップ>人口構成 → 「人口推移」

- ・総人口と年齢3区分別人口の推移を示しています。
- ・「総人口のピーク」「老年人口の増加傾向」等、自地域の人口変化の概要を把握できます。

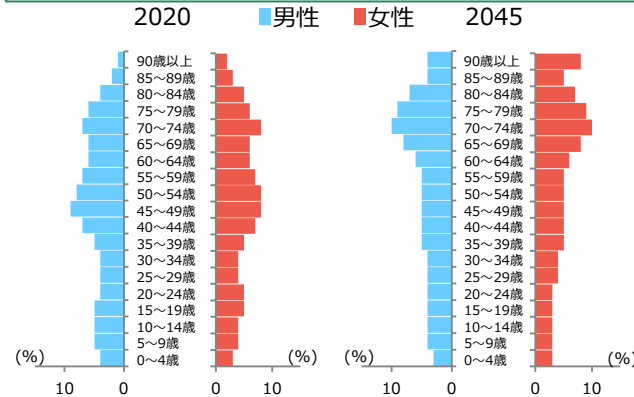


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

②人口ピラミッド

人口マップ>人口構成 → 「人口ピラミッド」

- ・男女別・5歳階級別にピラミッドで表示しています。
- ・将来の高齢者層の大きさ、生産年齢人口の減少等も視覚的に把握することができます。

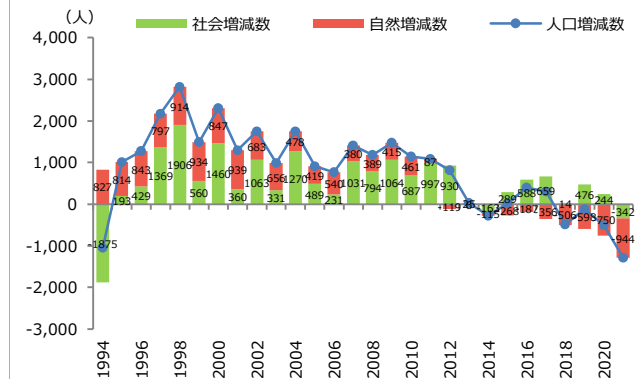


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

③自然増減・社会増減の推移

人口マップ>人口増減 → 「グラフを表示」

- ・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。



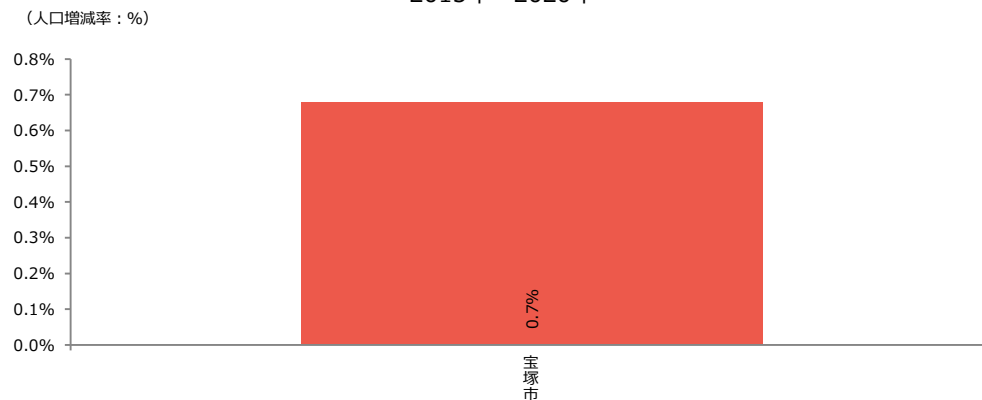
【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工
 【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

④人口増減率の比較

人口マップ>人口増減 → (ダウンロードデータより作成)

- ・人口増減率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・人口増減の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2015年→2020年



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

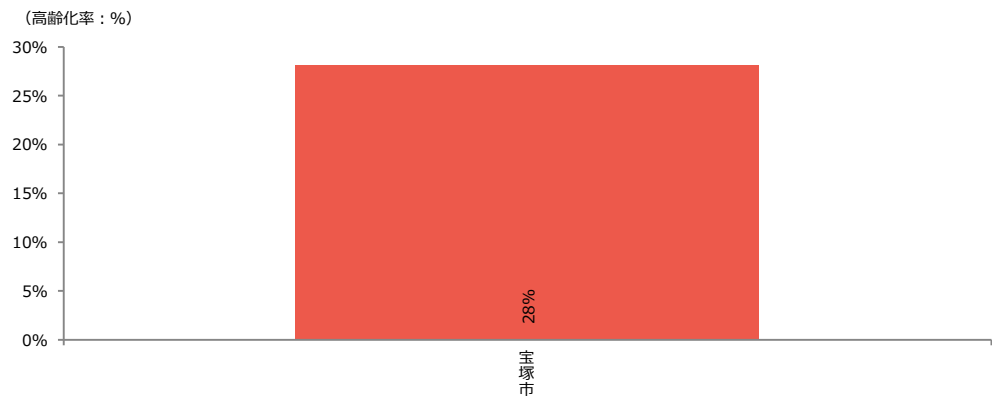
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

⑤高齢化率の比較

人口マップ>人口構成 → (ダウンロードデータより作成)

- ・高齢化率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・高齢化の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2020年

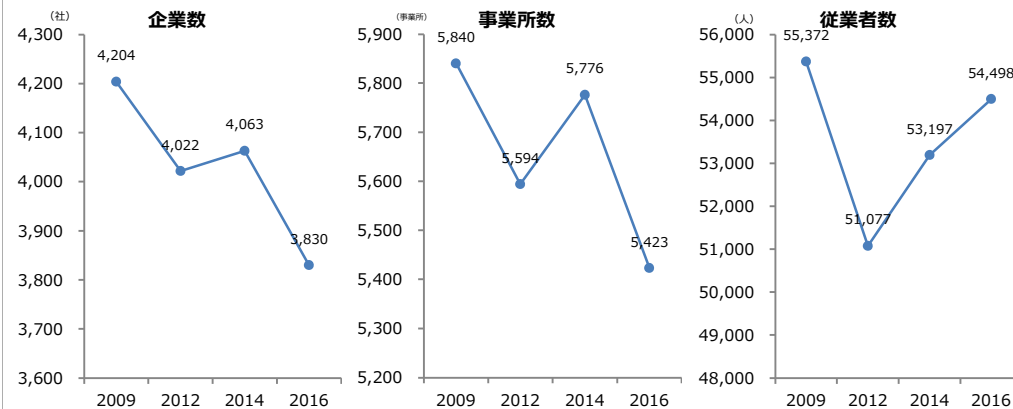


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

①企業数・事業所数・従業者数の推移

産業構造マップ>全産業>企業数・事業所数・従業者数（事業所単位） → [「グラフを表示」](#)

・地域産業全体の推移を、企業数、事業所数、従業者数の推移により概観します。



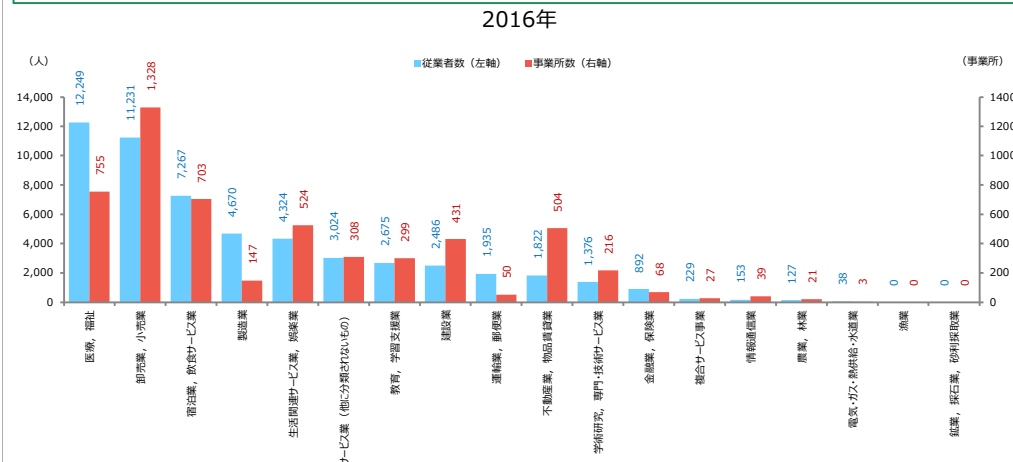
【出典】総務省「経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

【注記】企業数については、会社数と個人事業所を合算した数値。従業者数は事業所単位の数値。

③産業大分類別に見た従業者数（事業所単位）と事業所数

産業構造マップ>全産業>（事業所数・従業者数（事業所単位）） → [（ダウンロードデータより作成）](#)

・自地域の主要産業を産業大分類別の従業者数（事業所単位）および事業所数の観点から概観します。



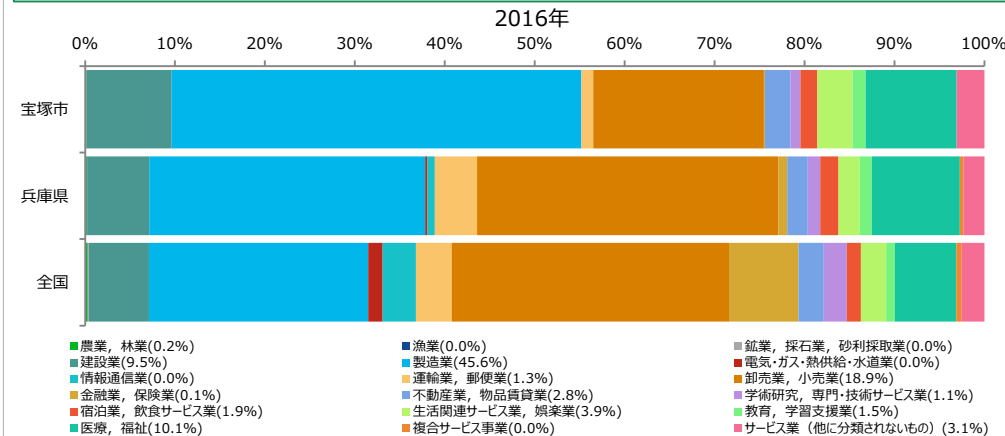
【出典】総務省「経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

②産業大分類別に見た売上高（企業単位）の構成比

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → [「横棒グラフで割合を見る」](#)

・売上高（企業単位）について、産業大分類別の構成比を他地域と比較します。
・自地域において構成比の大きな産業、他地域と比較して構成比の小さな産業等、産業の特徴を概観できます。



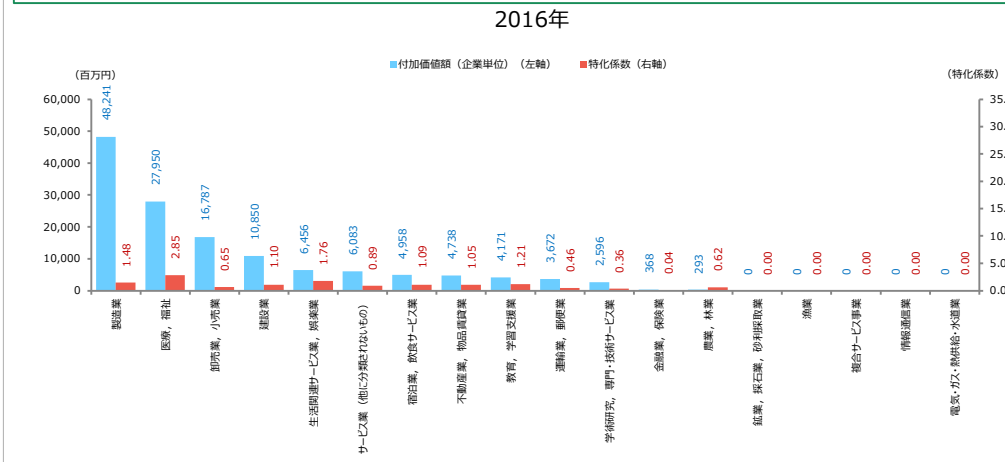
【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

④産業大分類別に見た付加価値額（企業単位）

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → [（ダウンロードデータより作成）](#)

・付加価値額の面から、自地域において稼ぐ力の大きな産業を概観します。
・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。

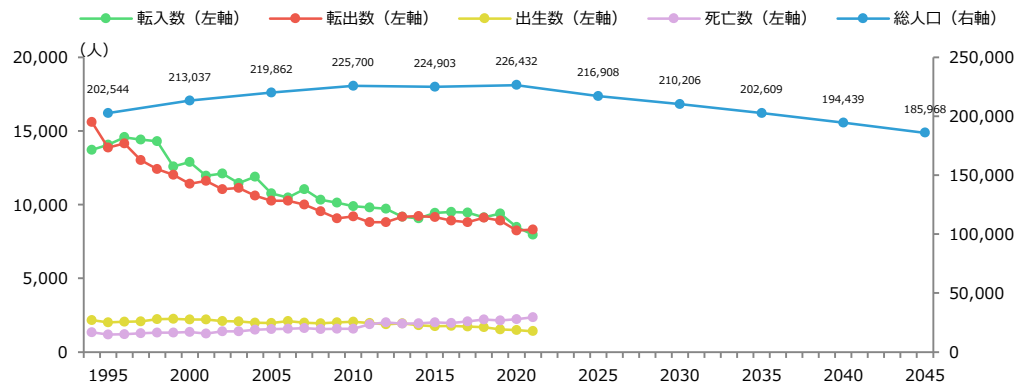


【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

①出生数・死亡数 / 転入数・転出数

人口マップ>人口増減 → 「グラフを表示」

- ・総人口の増減要因である、出生数・死亡数、転入数・転出数の推移を示しています。
- ・出生数と死亡数の推移から自然増減への対策、転出数・転入数の推移から社会増減への対策等、人口増減に対する政策検討の方向性を検討する基礎的な材料となります。



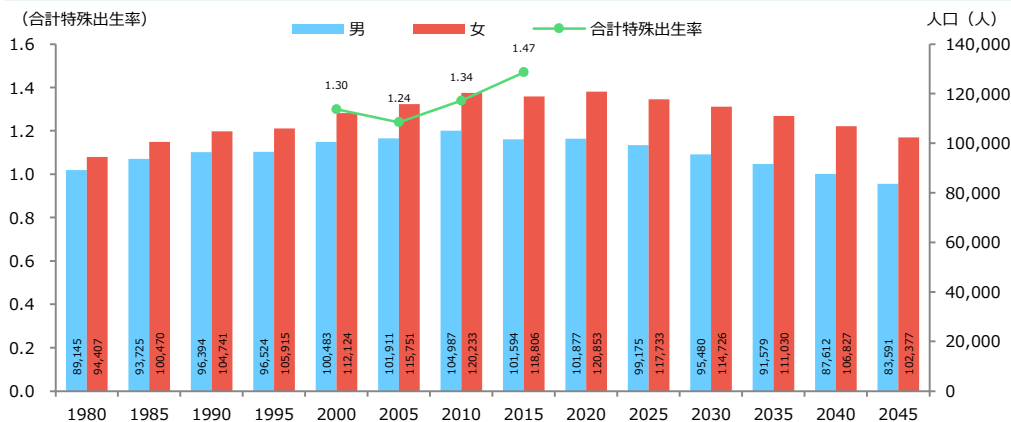
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

【注記】2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

②男女別人口・合計特殊出生率の推移

人口マップ>人口の自然増減 → 「合計特殊出生率と人口推移」

- ・男女別の人口推移と合計特殊出生率を示しています。
- ・合計特殊出生率は自然増減（出生数）に直結する指標であり、低下傾向にある場合には、婚姻率の向上、女性の地元定住促進、子育て支援等、政策面での対応が必要と考えられます。



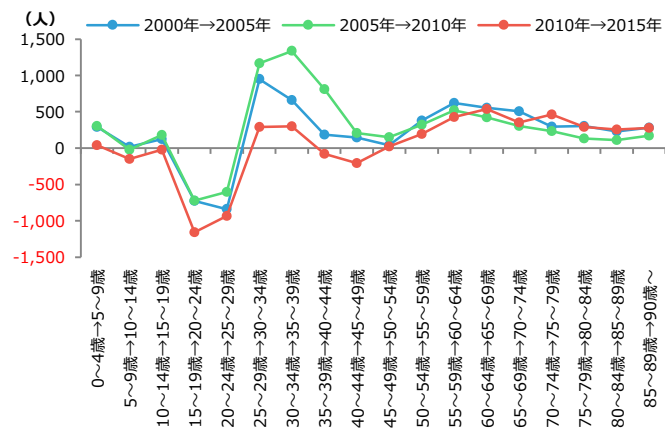
【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

③年齢階級別純移動数の時系列推移

人口マップ>人口の社会増減 → 「人口移動（グラフ分析）」

- ・社会増減の状況を年齢階級別に示しています。
- ・自地域の労働力に大きな影響を与える生産年齢層の社会移動の経年変化等を把握できます。



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

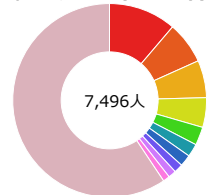
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④転入数・転出数の上位地域

人口マップ>人口の社会増減 → 「From-to（定住人口）」

- ・直近時点で転入数・転出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

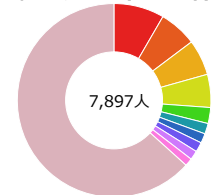
転入数内訳（2021年）



- 1位 兵庫県西宮市 (846人)
- 2位 兵庫県伊丹市 (527人)
- 3位 兵庫県尼崎市 (469人)
- 4位 兵庫県川西市 (371人)
- 5位 大阪府豊中市 (227人)
- 6位 兵庫県三田市 (164人)
- 7位 大阪府池田市 (148人)
- 8位 兵庫県神戸市東灘区 (111人)
- 9位 兵庫県神戸市北区 (95人)
- 10位 兵庫県芦屋市 (85人)
- その他 (4,453人)

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

転出数内訳（2021年）



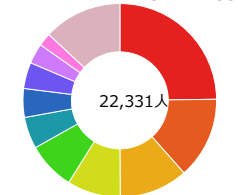
- 1位 兵庫県西宮市 (664人)
- 2位 兵庫県尼崎市 (496人)
- 3位 兵庫県川西市 (474人)
- 4位 兵庫県伊丹市 (435人)
- 5位 大阪府豊中市 (208人)
- 6位 兵庫県神戸市北区 (140人)
- 7位 大阪府池田市 (129人)
- 8位 兵庫県三田市 (127人)
- 9位 大阪府吹田市 (119人)
- 10位 兵庫県神戸市東灘区 (104人)
- その他 (5,001人)

⑤流入者数・流出者数の上位地域

まちづくりマップ>通勤通学人口 → 「地域間流動をグラフで見る」

- ・直近時点で流入数・流出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

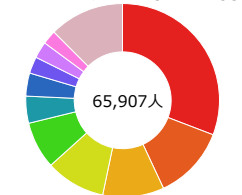
流入者数内訳（2020年）



- 1位 兵庫県西宮市 (5,548人)
- 2位 兵庫県伊丹市 (3,046人)
- 3位 兵庫県川西市 (2,561人)
- 4位 兵庫県神戸市 (1,982人)
- 5位 兵庫県尼崎市 (1,799人)
- 6位 兵庫県三田市 (1,172人)
- 7位 大阪府豊中市 (1,084人)
- 8位 大阪府大阪市 (966人)
- 9位 大阪府池田市 (758人)
- 10位 兵庫県猪名川町 (489人)
- その他 (2,926人)

【出典】総務省「国勢調査」

流出者数内訳（2020年）



- 1位 大阪府大阪市 (20,289人)
- 2位 兵庫県西宮市 (8,115人)
- 3位 兵庫県神戸市 (6,728人)
- 4位 兵庫県伊丹市 (6,606人)
- 5位 兵庫県尼崎市 (5,173人)
- 6位 兵庫県川西市 (2,983人)
- 7位 大阪府豊中市 (2,532人)
- 8位 兵庫県三田市 (1,841人)
- 9位 大阪府池田市 (1,832人)
- 10位 大阪府吹田市 (1,556人)
- その他 (8,252人)

各論② 産業特性（製造業）

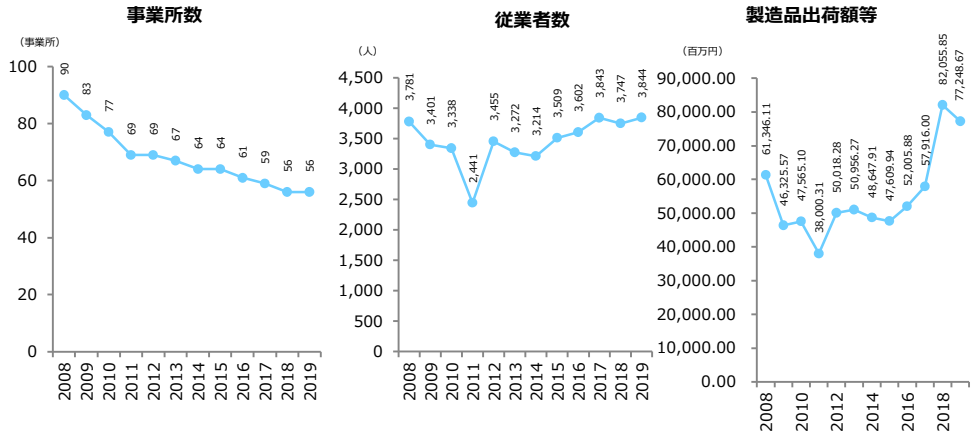
製造業の特徴を、規模・稼ぐ力・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

兵庫県宝塚市

①事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

産業構造マップ>製造業>製造業の比較 → ②「時系列グラフで分析」

・製造業全体の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移を概観します。

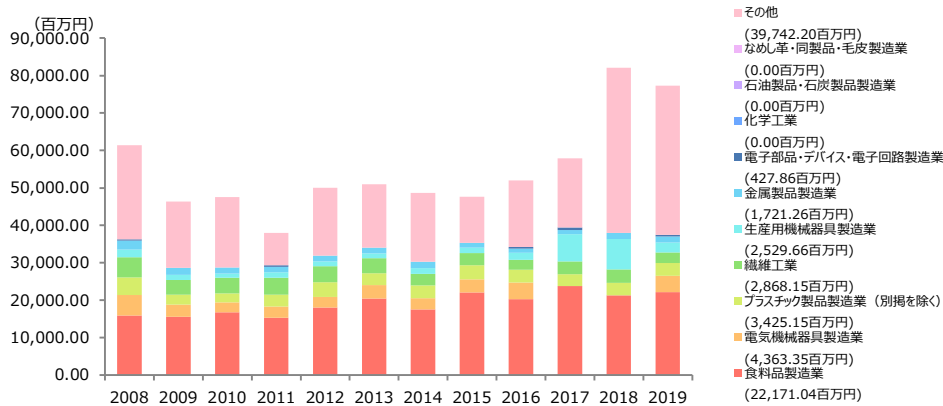


【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

②産業別製造品出荷額等の変化

産業構造マップ>製造業>製造業の構造 → ③「産業構造変化を分析（特定年間）」

・産業中分類別の製造品出荷額等の推移を示しています。
・出荷額の大きな産業の把握や各産業における製造品出荷額等の増加・減少傾向を概観できます。

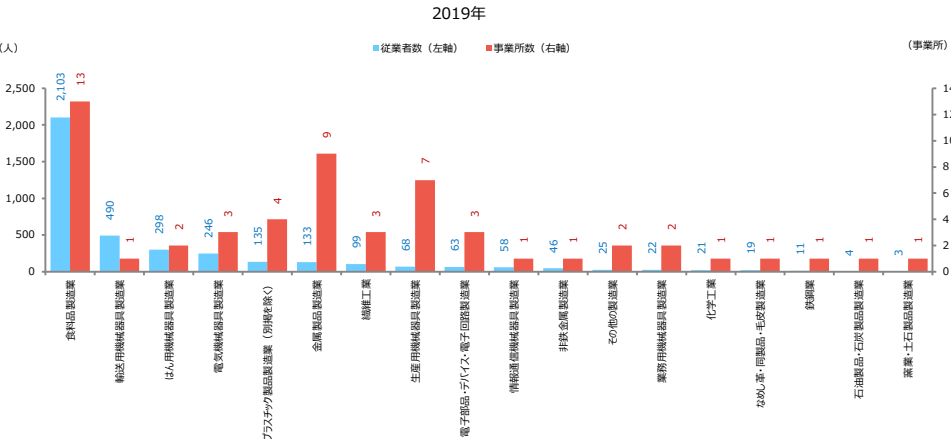


【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

③産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>製造業>製造業の比較 → ②「時系列グラフで分析」 → (ダウンロードデータより作成)

・自地域における製造業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。
・従業者数が多く事業所数の少ない産業は、一般に大規模工場等の存在する産業となります。



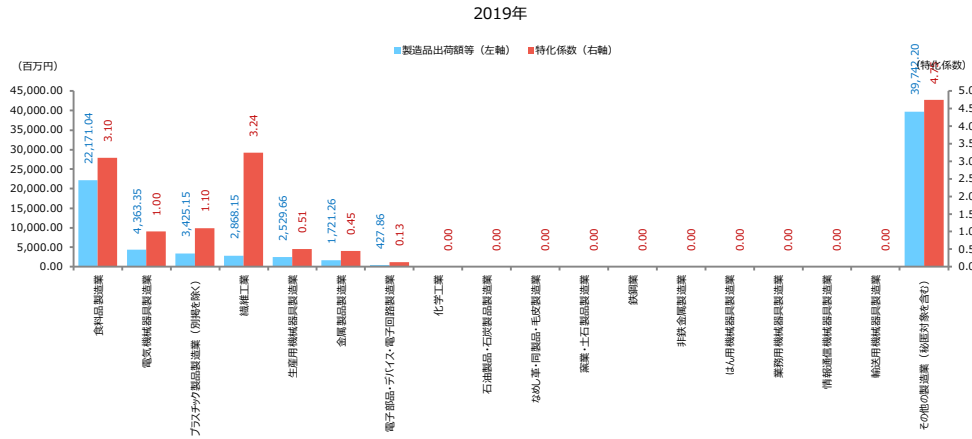
【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④産業中分類別製造品出荷額等

産業構造マップ>製造業>製造品出荷額等 → (ダウンロードデータより作成)

・自地域において出荷額規模の大きな産業を概観します。出荷額が大きく、かつ特化係数が1よりも大きな産業は、規模・構成比の両面で主要な産業となっています。



【出典】 経済産業省「工業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

各論③ 産業特性（小売業）

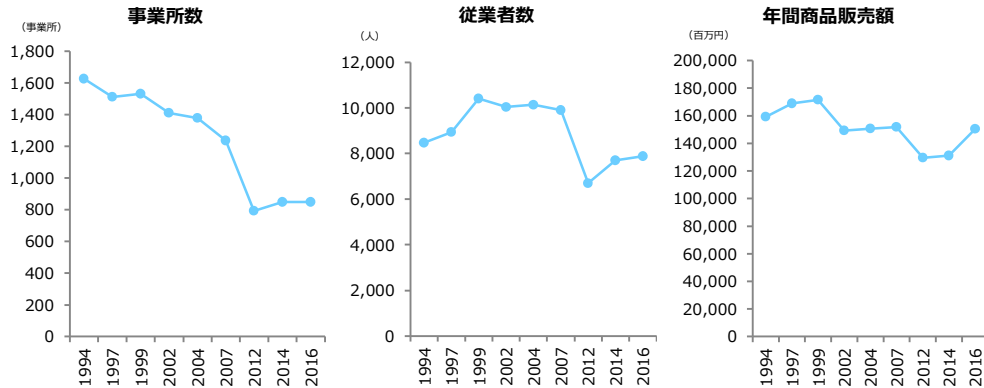
小売業の特徴を、規模・稼ぐ力・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

兵庫県宝塚市

①事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → 「産業構造変化を分析」

・小売業全体の事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移を概観します。



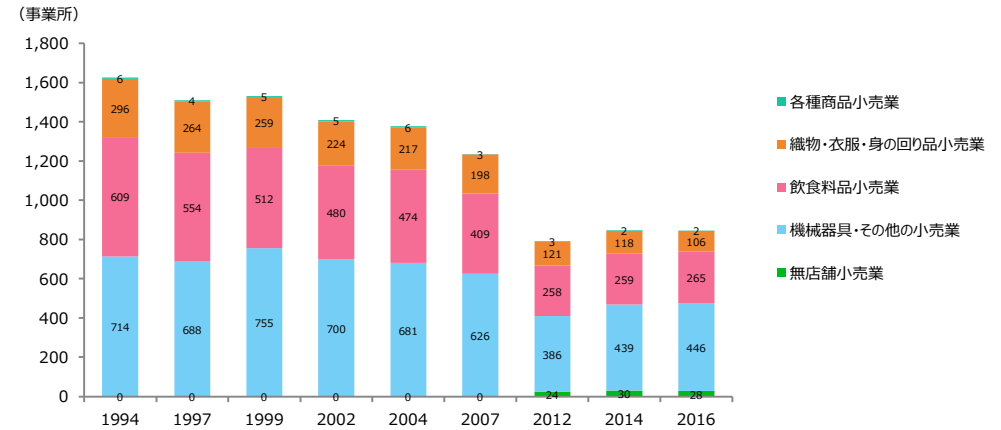
【出典】経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

【注記】2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

②産業別小売業事業所数の変化

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → 「産業構造変化を分析」

・小売業の事業所数推移を産業中分類別に示しています。
・事業所数の多い産業の把握や各産業における事業所数の増加・減少傾向を概観できます。



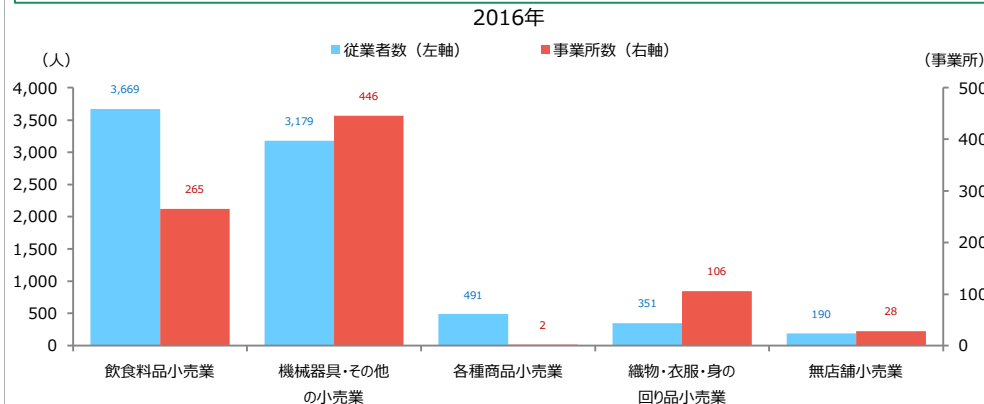
【出典】経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

【注記】2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

③産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → （ダウンロードデータより作成）

・自地域小売業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。

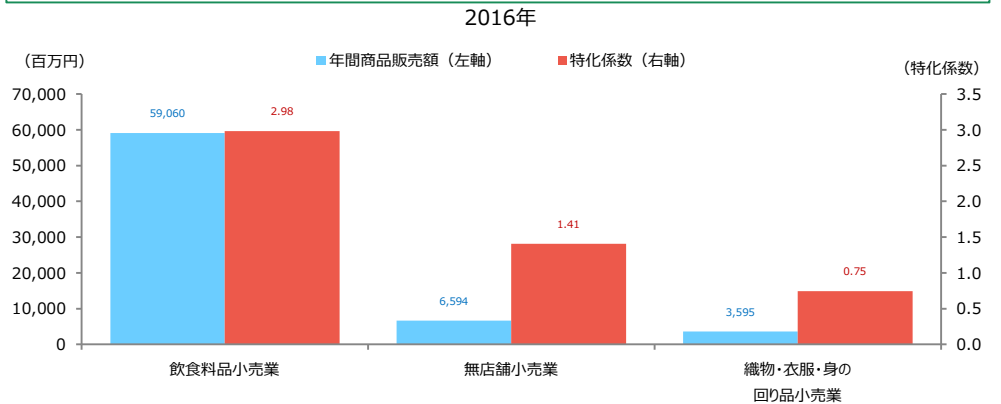


【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

④産業中分類別年間商品販売額

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → （ダウンロードデータより作成）

・産業中分類別の年間商品販売額の構成比から、自地域において販売額規模の大きな産業を概観します。
・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。



【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

各論④ 産業特性（農業）

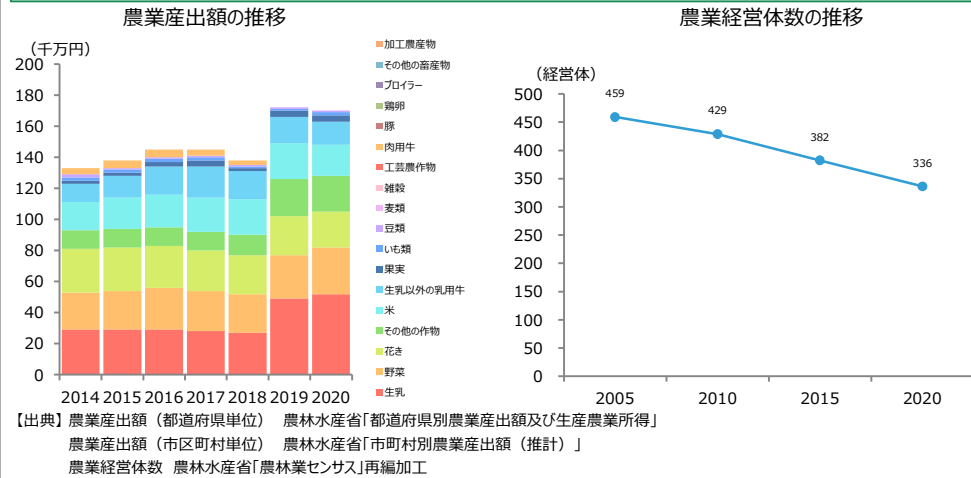
品目別農業産出額、就業人口、経営体規模等の観点から農業の特徴を概観します。

兵庫県宝塚市

① 農業産出額・農業経営体数の推移

産業構造マップ>農業>農業産出額 及び 農地分析 → (ダウンロードデータより作成)

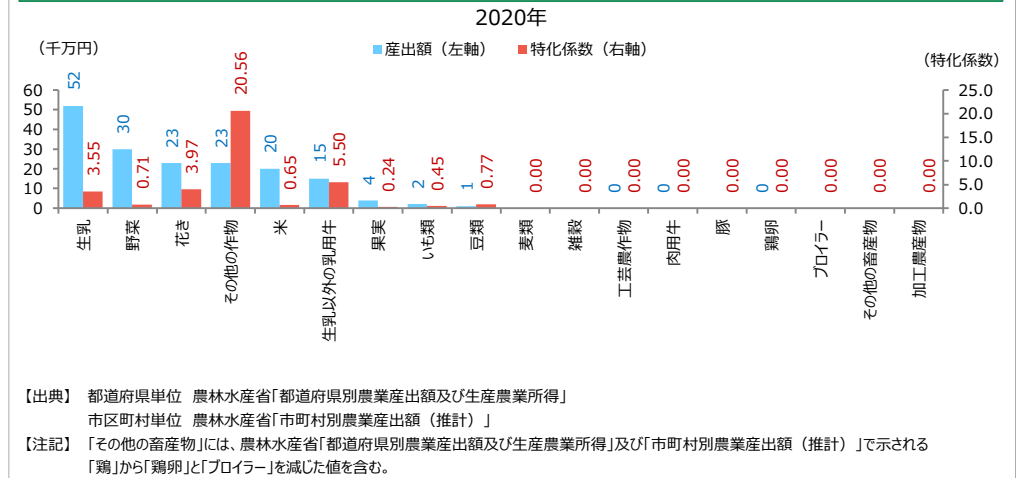
- ・農業産出額および農業経営体数の推移を表示しています。
- ・自地域における農業生産の拡大・縮小傾向を把握できます。



② 品目別農業産出額

産業構造マップ>農業>農業産出額 → (ダウンロードデータより作成)

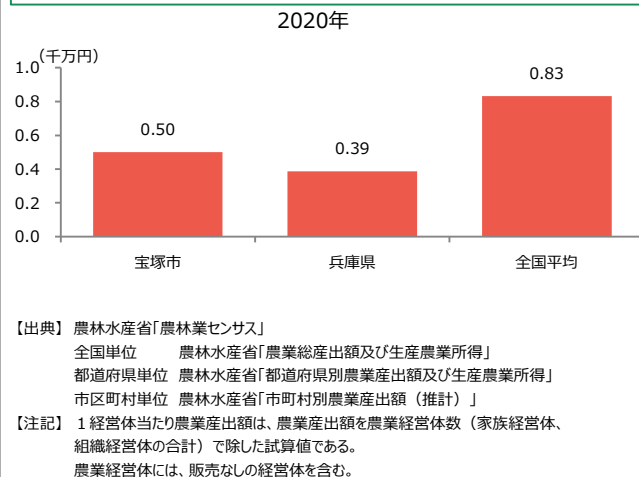
- ・品目別の農業産出額の構成比から、自地域において生産の大きな品目を概観します。
- ・産出額が大きく、かつ特化係数（自地域における品目Aの農業産出額構成比÷全国における品目Aの農業生産額構成比）も高い品目は、産出額・構成比の両面で特徴的な品目と言えます。



③ 経営体あたり農業産出額（地域間比較）

産業構造マップ>農業>農業産出額 → 「グラフを表示」

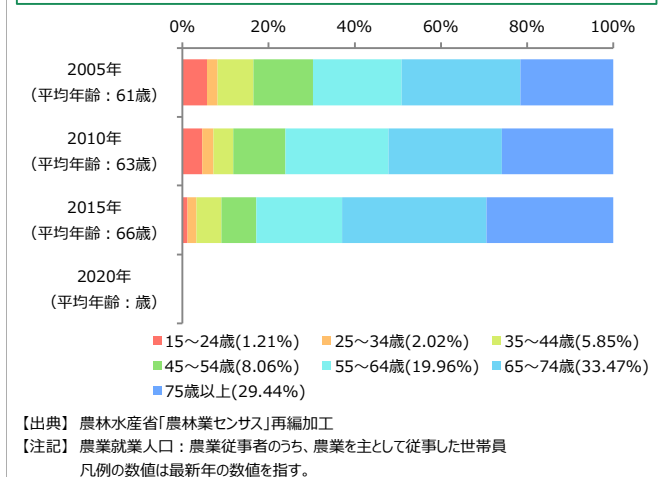
- ・経営体あたりの農業産出額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の農業の生産性の高低を概観できます。



④ 年齢階級別農業就業者比率と平均年齢

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (ダウンロードデータより作成)

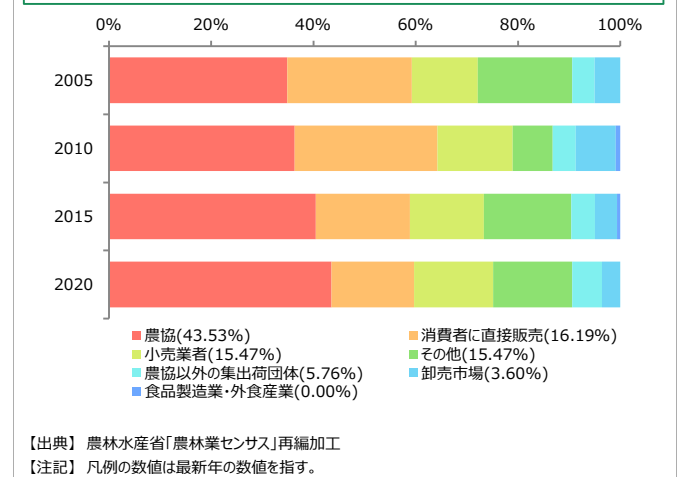
- ・年齢階級別にみた農業就業者数を概観します。
- ・農業の担い手の高齢化等の状況を確認できます。



⑤ 農産物の出荷先別経営体数割合の推移

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・農作物の出荷先別にみた経営体の構成比を比較します。
- ・自地域の農産物がどこに出荷されているかを概観できます。



※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

各論⑤ 産業特性（林業）

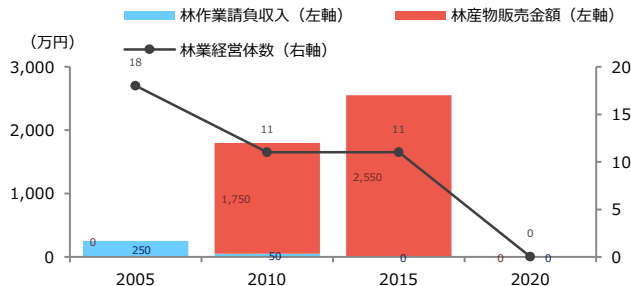
林業総収入・経営体数の推移、林業部門別経営体数等の観点から林業の特徴を概観します。

兵庫県宝塚市

① 林業総収入・林業経営体数の推移

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (ダウンロードデータより作成)

- ・林業総収入と林業経営体数の推移を表示しています。
- ・林業の拡大・縮小傾向を、総収入と経営体数の変化から概観します。



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】林業総収入＝林産物販売金額＋林業作業請負収入

林産物販売金額＝Σ（各階層中位数×各階層経営体）

林業作業請負収入＝Σ（各階層中位数×各階層経営体）

最上位層の中位数は7億円として推計。

「林業作業請負収入」とは、農林業センサスにおける受託料金収入を指す。

林作業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

② 林業部門別延べ経営体数

産業構造マップ>林業>林業総収入 → 「林業部門別延べ経営体数」→ (ダウンロードデータより作成)

- ・各林業部門の販売・請負を行った延べ経営体数を概観します。
- ・特化係数（自地域における部門Aの延べ経営体数比率÷全国における部門Aの延べ経営体比率）が1より大きな部門は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な部門といえます。

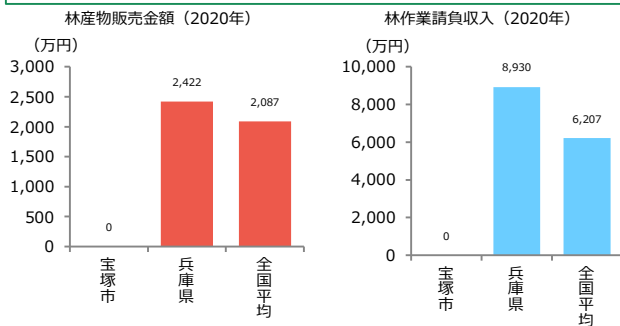


【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

③ 経営体あたり林業収入（地域間比較）

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (ダウンロードデータより作成)

- ・経営体あたりの林産物販売金額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の生産性の高低を概観できます。



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】林業総収入＝林産物販売金額＋林業作業請負収入

林産物販売金額＝Σ（各階層中位数×各階層経営体）

林業作業請負収入＝Σ（各階層中位数×各階層経営体）

最上位層の中位数は7億円として推計。

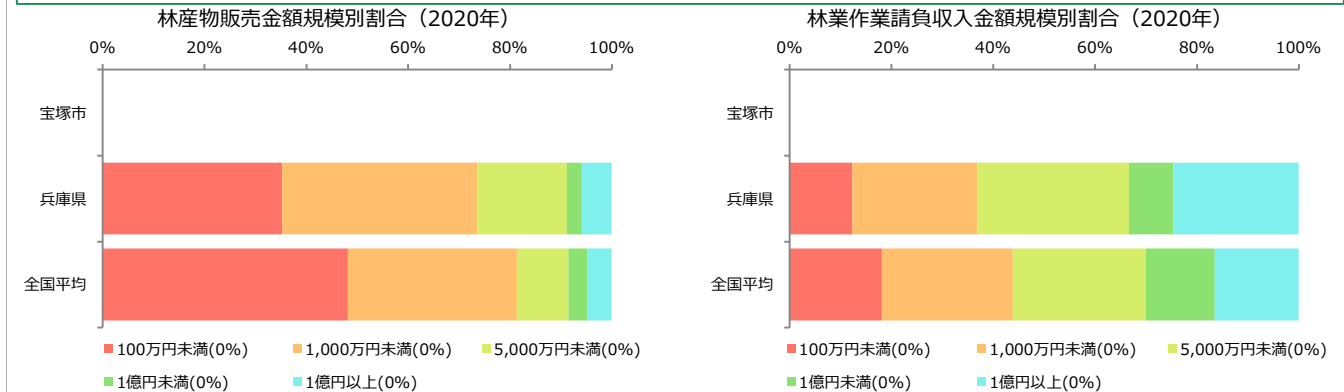
「林業作業請負収入」とは、農林業センサスにおける受託料金収入を指す。

林作業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

④ 林産物販売金額帯別経営体割合および林業作業請負収入金額帯別経営体割合（地域間比較）

産業構造マップ>林業>林業総収入 → 「グラフを表示」

- ・林産物販売金額および林業作業請負収入金額についての経営体割合を地域間で比較します。
- ・自地域の林業経営体の経営規模を販売額の大きさの観点から概観できます。



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】林業作業請負収入とは、農林業センサスにおける受託料金収入を指す。林作業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

凡例の数値は選択地域の数値を指す。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

各論⑥ 産業特性（水産業）

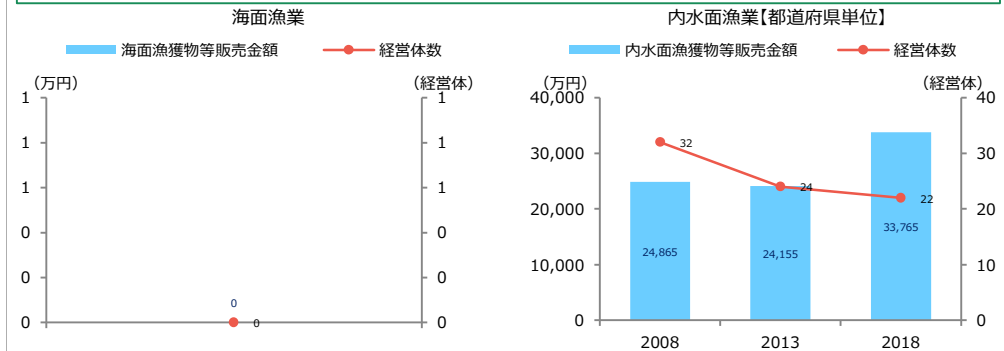
海面・内水面漁業の特徴を、販売金額・経営体数等により概観します。

兵庫県宝塚市

① 漁獲物等販売金額・漁業経営体数の推移

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → ㊟「グラフを表示」（ダウンロードデータより作成）
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → ㊟「グラフを表示」（ダウンロードデータより作成）

- 海面漁獲物等販売金額と経営体数、および内水面漁獲物等販売金額と経営体数の推移を表示しています。
- 拡大・縮小傾向を、販売金額と経営体数の変化から概観します。



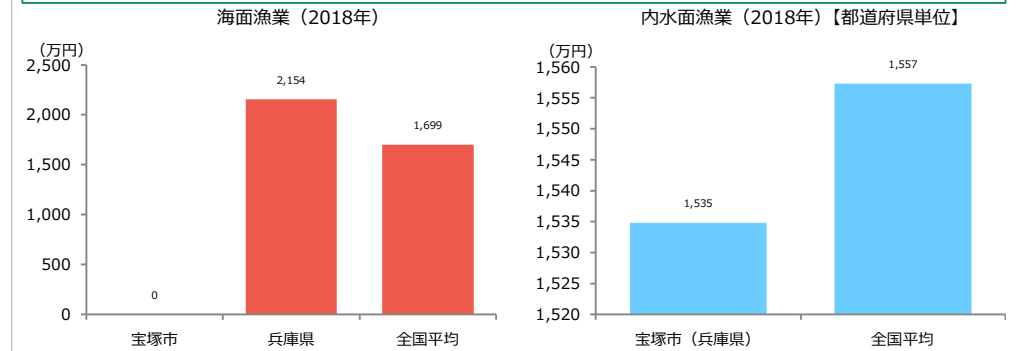
【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】 販売金額=Σ（各階層中位数×各階層経営体数）最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収獲物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。

② 経営体あたり漁獲物等販売金額（地域間比較）

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → ㊟「グラフを表示」（ダウンロードデータより作成）
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → ㊟「グラフを表示」（ダウンロードデータより作成）

- 海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、経営体あたりの漁獲物等販売金額を比較します。
- 自地域の水産業の生産性の高低を概観できます。



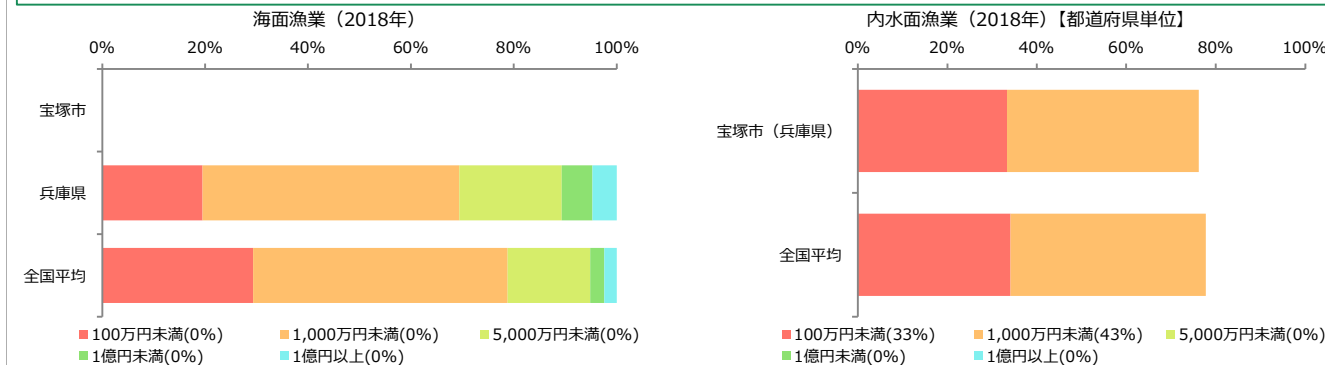
【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】 販売金額=Σ（各階層中位数×各階層経営体数）最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収獲物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。

③ 漁獲物等販売金額帯別経営体割合（地域間比較）

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → ㊟「グラフを表示」 産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → ㊟「グラフを表示」

- 海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、漁獲物等販売金額帯別にみた経営体の構成比を地域間で比較します。
- 自地域の経営体の経営規模を販売額の大きさの観点から概観できます。



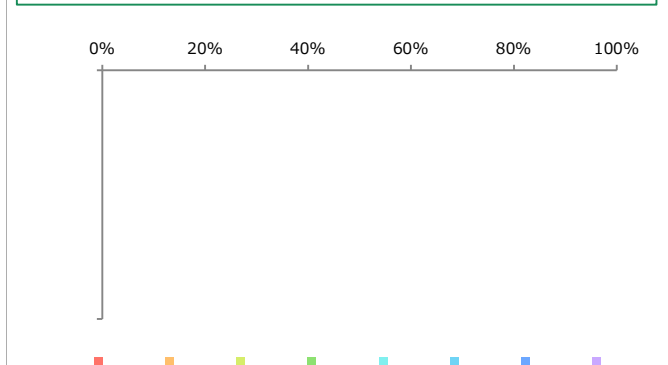
【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】 販売金額=Σ（各階層中位数×各階層経営体数）最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収獲物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。
凡例の数値は選択地域の数値を指す。

④ 海面漁獲物等出荷先別経営体数の割合

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → ㊟「漁獲物等出荷先別販売金額」（ダウンロードデータより作成）

- 海面漁獲物の出荷先別経営体数割合の推移を示しています。
- 販路拡大、流通チャンネル分析等の基礎となる情報です。



【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

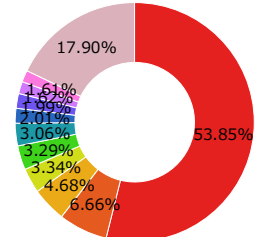
①(日本人)休日14時に指定地域に滞在した人口の居住都道府県別割合

まちづくりマップ>From-to分析(滞在人口) → ①「グラフを表示」

- ・休日14時に自地域に滞在した県外居住者について居住都道府県別構成比を示しています。
- ・休日日中にどこからの訪問客が多いのかを把握できます。

滞在人口合計：187,832人 (うち県外居住者：22,402人 県外割合：11.93%)
(2022年6月・休日14時)

県外居住者の地域別構成割合



【出典】株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

【注記】滞在人口とは、指定地域の指定時間(4時、10時、14時、20時)に滞在していた人数の月間平均値(平日・休日別)を表している。
滞在人口率は、滞在人口(株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」)÷国勢調査人口(総務省「国勢調査」夜間人口)で表される。
15歳以上90歳未満の人口を対象。
携帯電話の運用データについては国籍に関わらず契約者のデータが使用されていることから、滞在人口の算出には国内に居住する外国

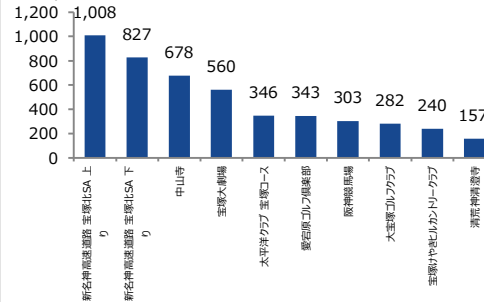
②観光施設等を目的地とした検索回数ランキング

観光マップ>目的地分析 → ②「目的地検索ランキングを表示」

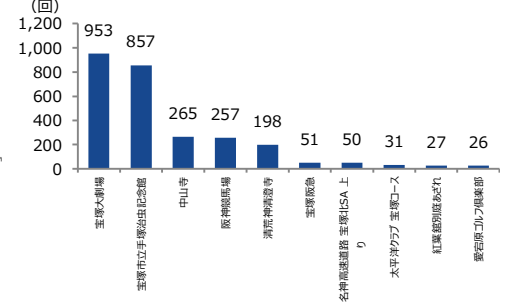
- ・自地域の観光施設等で、経路検索サービスにおいて目的地として検索された回数の多いものを表示します。
- ・自地域において集客力のある観光施設を把握できます。

2020年(休日)

交通手段：自動車



交通手段：公共交通



【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

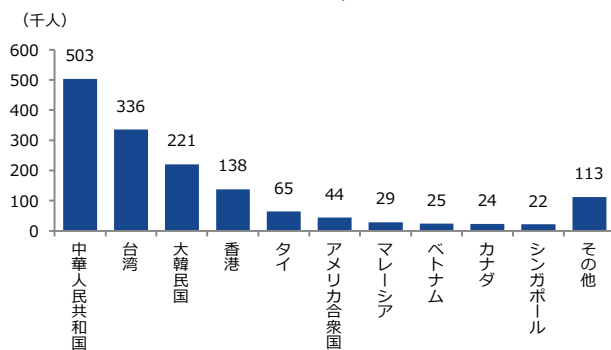
【注記】検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。
・施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当
・年間検索回数が自動車は50回、公共交通は30回以上
・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

③(外国人)指定地域への国・地域別外国人訪問客数(都道府県単位)

観光マップ>外国人訪問分析 → ③「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人訪問客数を国・地域別に示しています。
- ・どこからの訪問客が多いのかを概観できます。

2019年



【出典】観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局(INTO)「訪日外客数」

【注記】「地域別の訪日外客数=地域別の訪問客数(観光・レジャー目的)×訪日外客数×旅行目的別構成比(観光・レジャー目的)」により推計している。

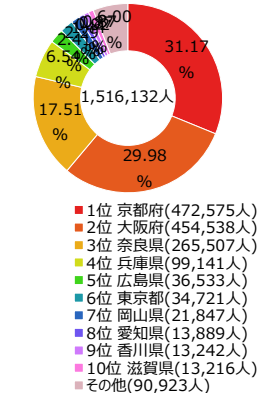
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④(外国人)指定地域への移動相関分析【都道府県単位】

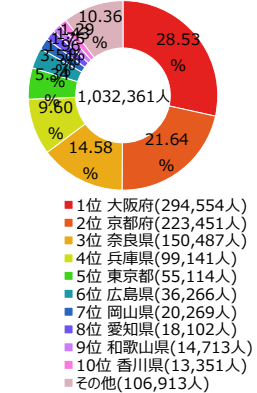
観光マップ>外国人移動相関分析 → ④「グラフを表示」

- ・自地域に滞在した外国人訪問客が、直前・直後に滞在していた地域を示しています。周遊ルート等の検討に活用できる情報です。

直前に滞在した地域(2019年)



直後に滞在した地域(2019年)



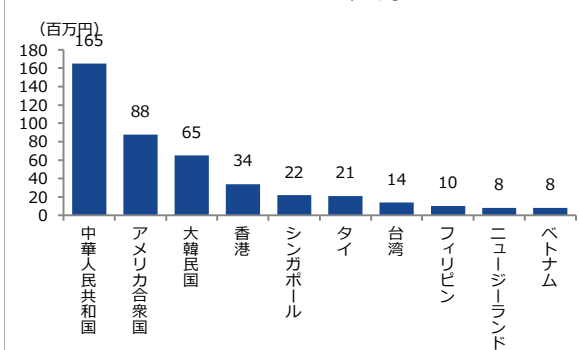
【出典】国土交通省「FF-Data(訪日外国人流動データ)」

⑤(外国人)指定地域内での国・地域別消費額【都道府県単位】

観光マップ>外国人消費の比較(クレジットカード) → ⑤「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人によるクレジットカード消費額を国・地域別に示しています。
- ・どの国・地域からの訪問客による消費が活発なのかを概観できます。

2021年9月



【出典】ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社のカードデータを再編加工

【注記】消費額は、外国人訪問客がクレジットカードを使用した消費額を地域別のシェア率等から算出した金額。
国・地域は、カード所有者の居住地であるため、観光客以外の永住者・定住者による消費額も含まれる。

各論⑧ 雇用

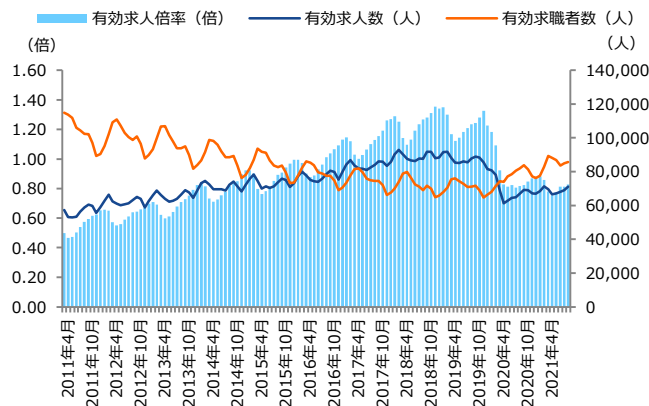
有効求人倍率、一人当たり賃金の地域間比較・産業間比較等から雇用の特徴を概観します。

兵庫県宝塚市

①有効求人倍率の推移【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → ⑧「グラフを表示」(ダウンロードデータより作成)

- ・有効求人数、有効求職者数、有効求人倍率の推移を示しています。
- ・自地域における雇用環境の変化を概観できます。

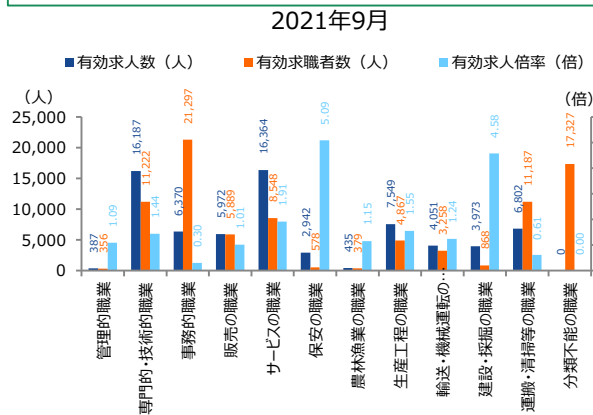


【出典】 厚生労働省「職業安定業務統計」

②有効求人倍率（職種間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → ⑧「グラフを表示」(ダウンロードデータより作成)

- ・職種別に有効求人数、有効求職者数、有効求人倍率を比較します。
- ・職種間の有効求人倍率の違いを概観できる他、求職者数と求人数のミスマッチが生じている職種とその大きさを確認できます。

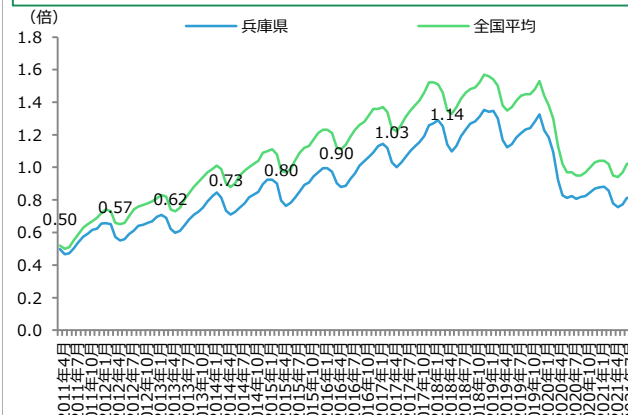


【出典】 厚生労働省「職業安定業務統計」

③有効求人倍率推移（地域間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → ⑧「グラフを表示」(ダウンロードデータより作成)

- ・有効求人倍率の推移を全国、他地域等を比較しています。
- ・自地域における雇用環境が全国や他地域と比較してどのような状況にあるかを概観できます。

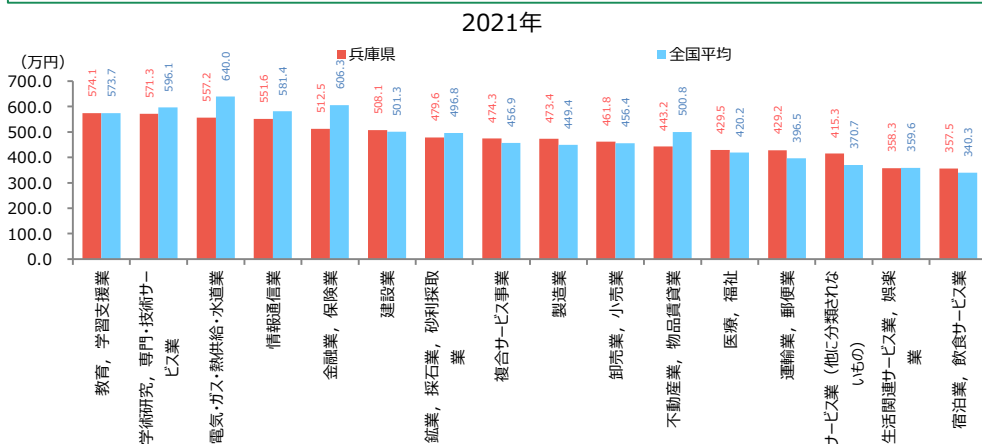


【出典】 厚生労働省「職業安定業務統計」

④一人当たり賃金（産業間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>一人当たり賃金 → ⑧「グラフを表示」(ダウンロードデータより作成)

- ・産業別に一人当たり賃金を比較します。
- ・また、全国平均との比較により、全国よりも賃金水準の高い産業・低い産業を概観できます。



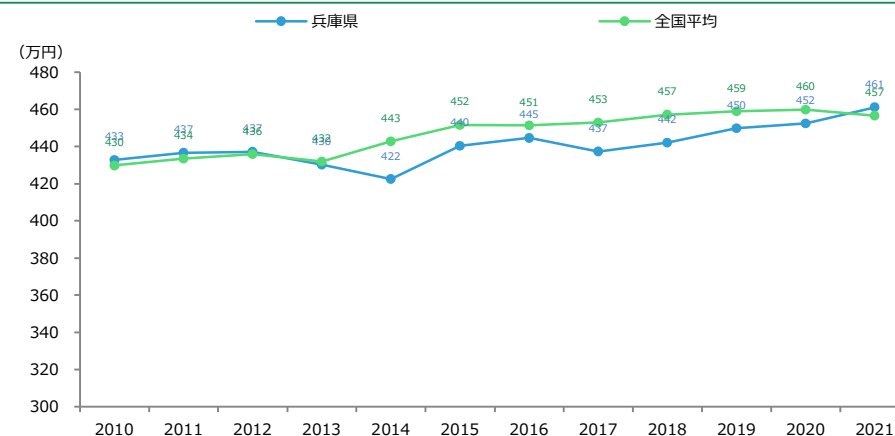
【出典】 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

⑤一人当たり賃金（地域間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>一人当たり賃金 → ⑧「グラフを表示」

- ・一人当たり賃金を地域間で比較します。
- ・自地域における賃金の傾向把握の他、賃金に関する政策実施が与えた影響等の把握に利用できます。



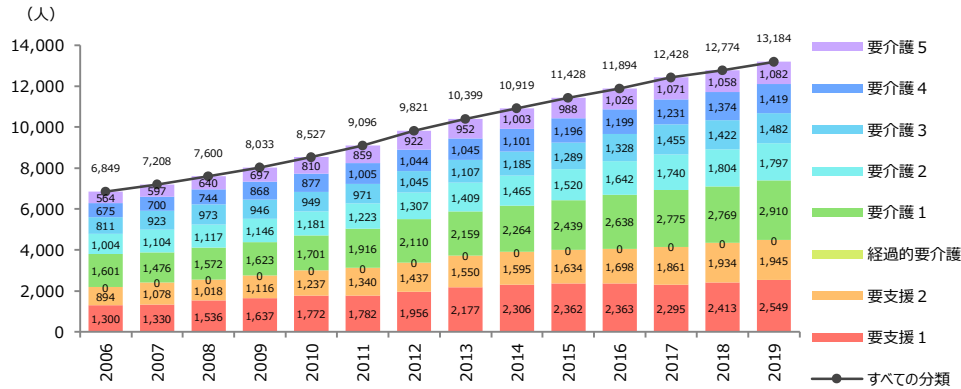
【出典】 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※本シートのグラフは、すべて都道府県単位の数値となります。

①要介護（要支援）認定者数の推移【保険者単位】

医療・福祉マップ>介護需給 → (ダウンロードデータより作成)

・福祉サービスの検討において重要な検討材料となる要介護（要支援）認定者数の推移を示しています。



【出典】厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」

【注記】要介護（要支援）認定者数とは、介護保険における要介護認定制度に基づき介護サービスの利用が必要であると認定された者。

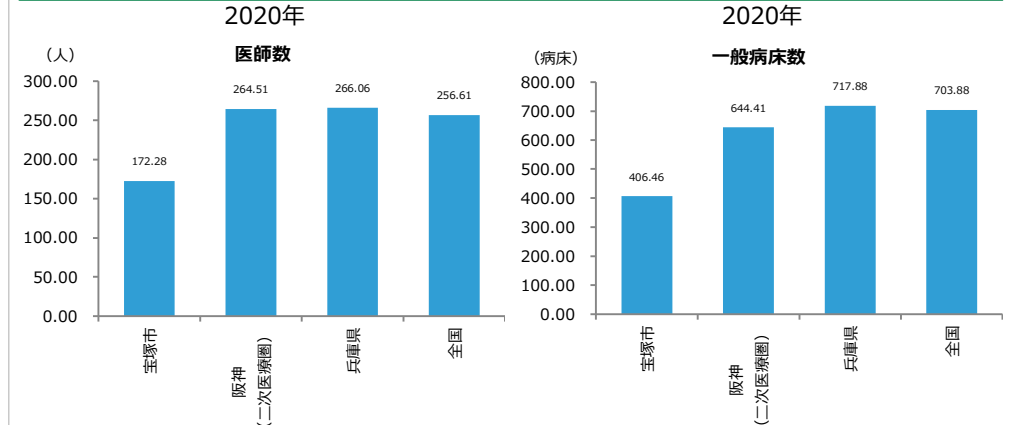
要介護認定制度及び要支援・要介護度（要介護1～要介護5）の区分については、下記URLを参照のこと。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/nintei/index.html

②人口10万人あたり医師数・一般病床数（地域間比較）

医療・福祉マップ>医療需給 → 「縦棒グラフで比較する」

・人口10万人あたりの医師数・一般病床数を示しています。
・全国および他地域と比較することで、自地域の水準を把握できます。



【出典】厚生労働省「医療施設静態調査」、「医師・歯科医師・薬剤師調査」（2016年まで）、「医師・歯科医師・薬剤師統計」（2018年から）

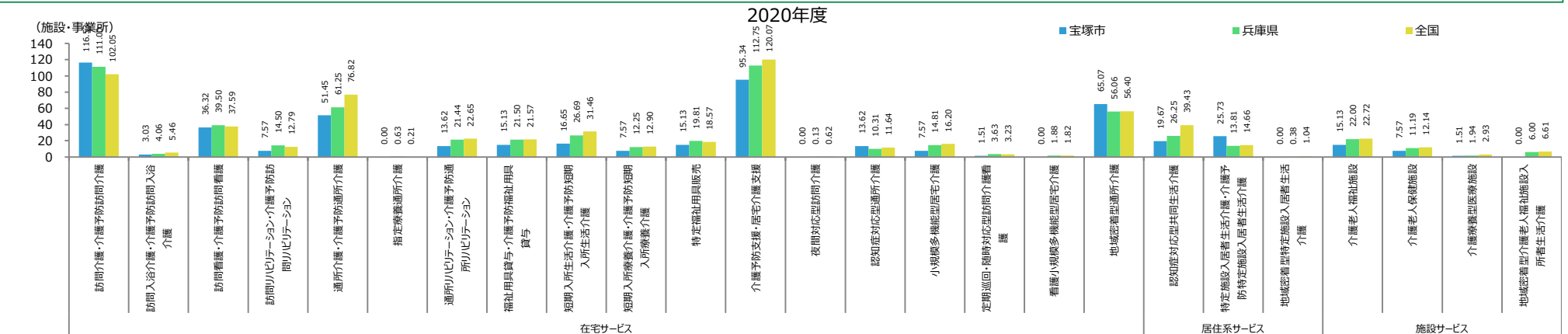
「衛生行政報告例」、「患者調査」、総務省「人口推計」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】対象地域が市区町村単位の場合：グラフは、対象地域、対象地域の属する二次医療圏、都道府県、全国の値を比較している

③65歳以上人口10万人あたり介護施設数・事業所数（サービス種別・地域間比較）

医療・福祉マップ>介護需給 → 「縦棒グラフで比較する」 (ダウンロードデータより作成)

・施設・居住系・在宅サービスの供給水準として、65歳以上人口10万人あたりの介護施設数・事業所数をサービス種別に示しています。
・全国水準等と比較することで、自地域の水準を把握できます。



【出典】厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」、「介護サービス施設・事業所調査」

総務省「人口推計」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】グラフは、対象地域、都道府県、全国の値を比較している。

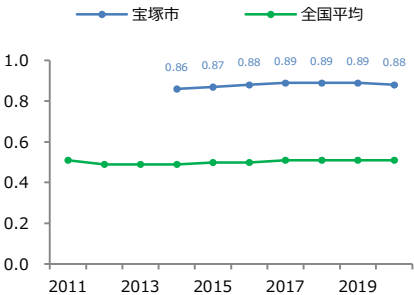
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

①各種財政指標の比較分析

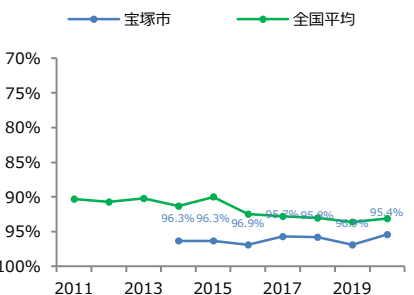
地方財政マップ>自治体財政状況の比較 → 「地域間で比較する」

- ・自治体の財政状況を示す主要な財政指標（財政力指数、実質公債費比率等）の推移を示しています。
- ・全国平均との比較を行うことで、自地域の財政状況の健全度を分析することができます。

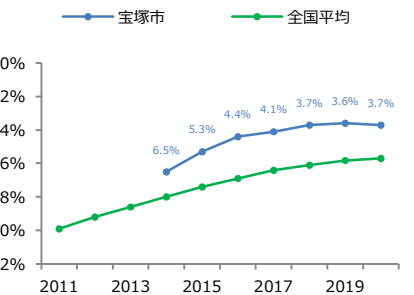
財政力指数



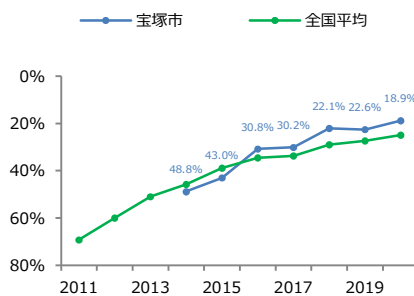
経常収支比率



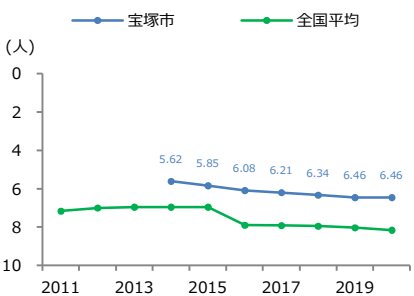
実質公債費比率



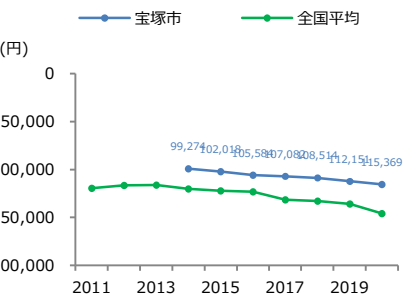
将来負担比率



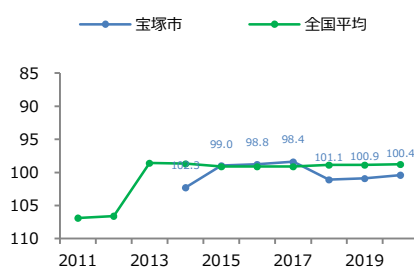
人口あたり職員数



人口1人あたり人件費・物件費等の決算額



ラスパイレス指数



財政指標

財政指標	2020値	順位 都道府県内
財政力指数	0.88	5/41
経常収支比率	95.4%	35/41
実質公債費比率	3.7%	8/41
将来負担比率	18.9%	16/41
人口あたり職員数	6.46人	12/41
人口1人あたり人件費物件費等の決算額	115,369円	11/41
ラスパイレス指数	100.4	36/41

【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」

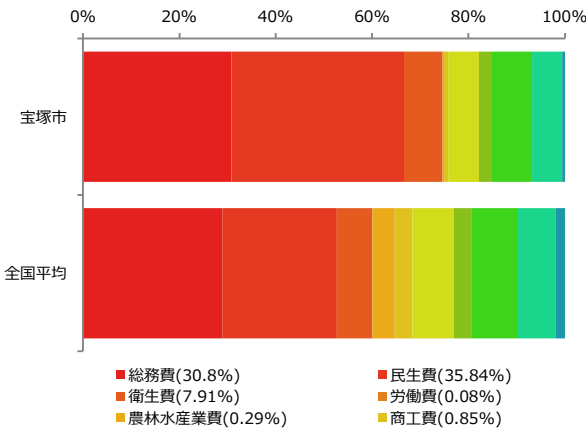
【注記】人口あたり職員数：都道府県の場合は人口10万人、市町村（特別区を含む）の場合は人口千人あたりの職員数。

②目的別歳出決算額の比較

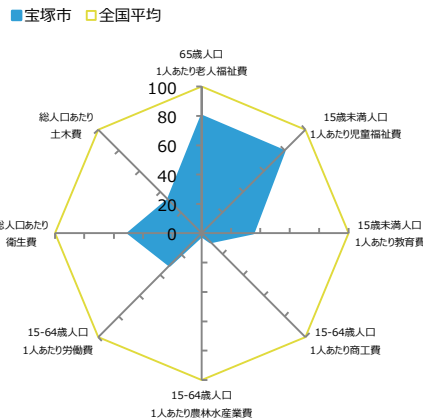
地方財政マップ>自治体財政状況の比較 → 「目的別歳出を見る」

- ・自地域の歳出額を目的別に示しています。構成比および人口あたり水準の面から、自地域の歳出構成の特徴を概観することができます。

構成比の比較（2020年度）



人口あたり水準の比較（2020年度）



【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

地域経済循環率

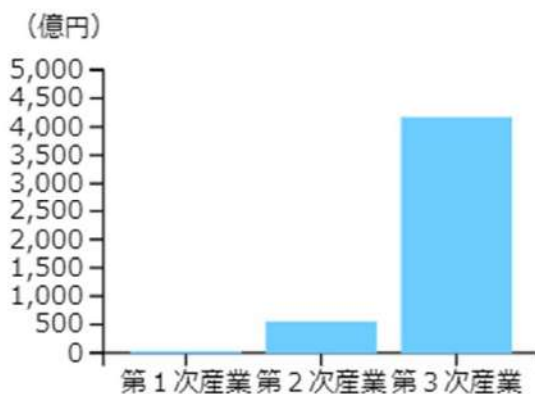
60.0%

地域経済循環図

2018年

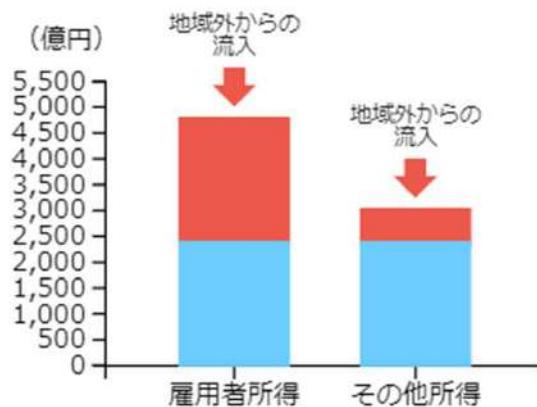
指定地域：兵庫県宝塚市

生産（付加価値額）



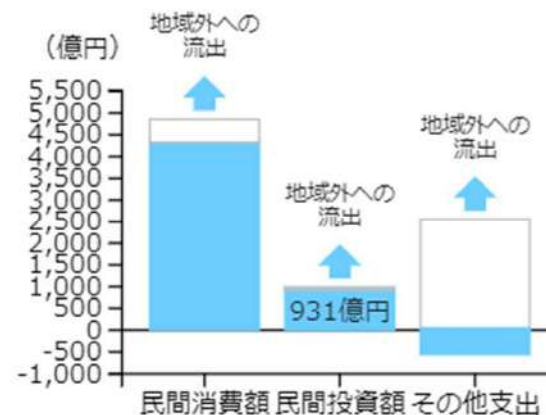
詳細を見る

分配（所得）



詳細を見る

支出



詳細を見る

所得への分配

4,692

所得からの支出

7,825

支出による生産への還流

4,692

地域経済循環率

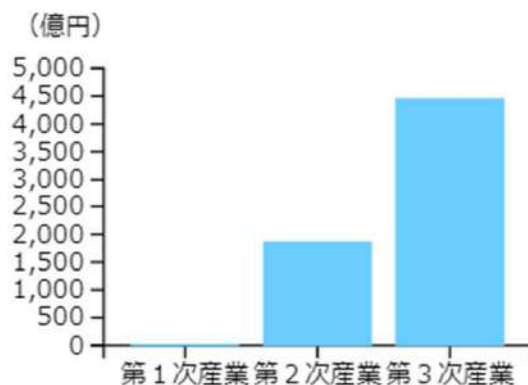
83.6%

地域経済循環図

2018年

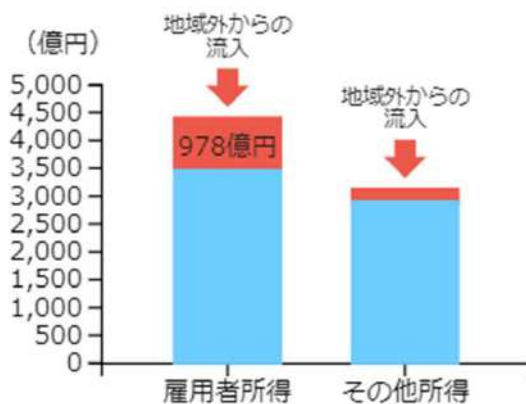
指定地域：兵庫県伊丹市

生産（付加価値額）



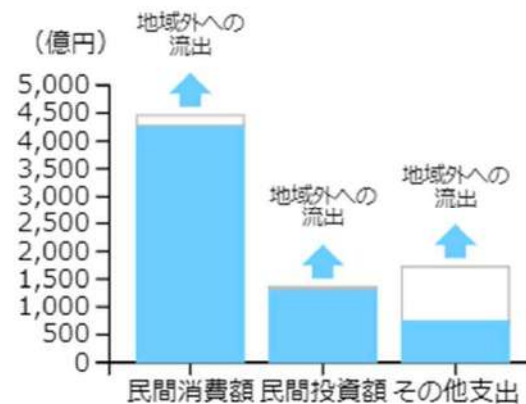
詳細を見る

分配（所得）



詳細を見る

支出



詳細を見る

所得への分配

6,299

所得からの支出

7,538

支出による生産への還流

6,299

地域経済循環率

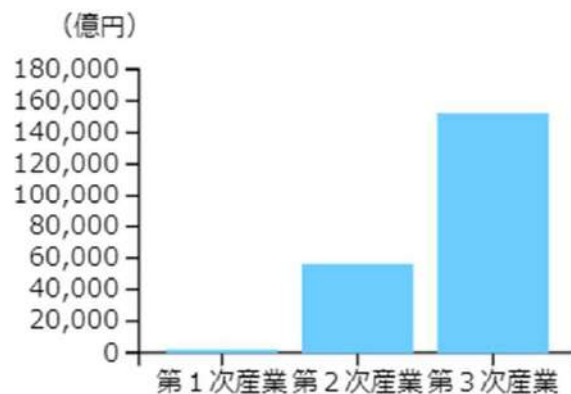
92.1%

地域経済循環図

2018年

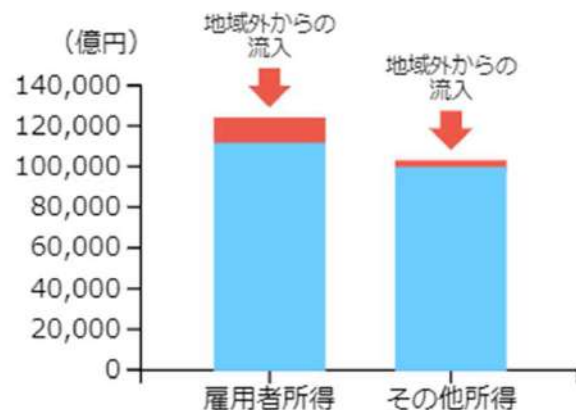
指定地域：兵庫県

生産（付加価値額）



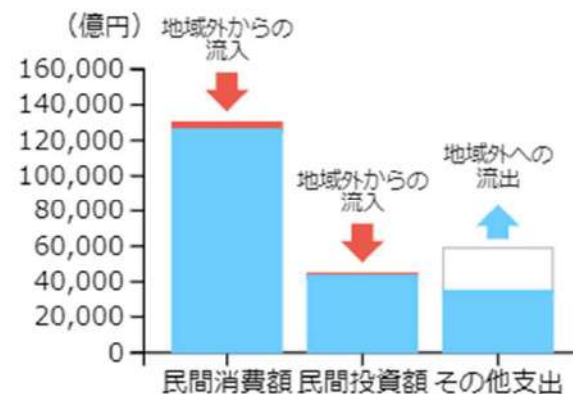
詳細を見る

分配（所得）



詳細を見る

支出



詳細を見る

所得への分配
208,260

所得からの支出
226,218

支出による生産への還流
208,260

【目的】滞在者が増える時期と減る時期を確認し、滞在者の季節変動を把握しよう。

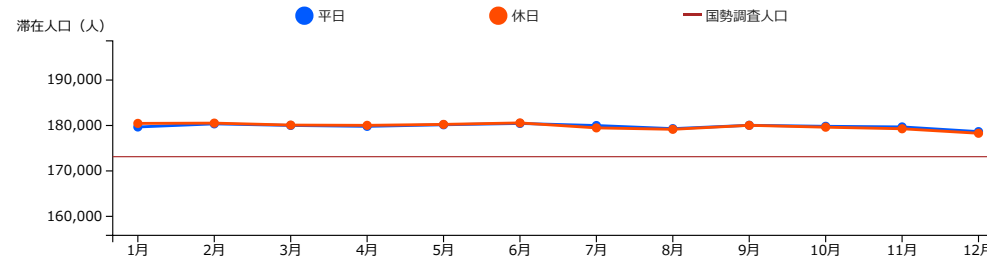
滞在人口の月別推移

兵庫県宝塚市

2021年 4時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

（国勢調査人口：173,134人）



【出典】

株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」

【注記】 +

【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

2021年の4時は休日の滞在人口は6月が最も多く、12月が最も少ない。
平日の滞在人口は6月が最も多く、12月が最も少ない。

【目的】滞在者が増える時期と減る時期を確認し、滞在者の季節変動を把握しよう。

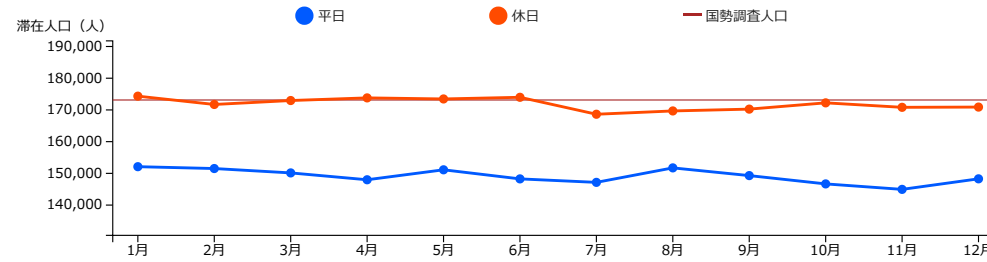
滞在人口の月別推移

兵庫県宝塚市

2021年 10時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

（国勢調査人口：173,134人）



【出典】

株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」

【注記】 +

【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

2021年の10時は休日の滞在人口は1月が最も多く、7月が最も少ない。
平日の滞在人口は1月が最も多く、11月が最も少ない。

【目的】滞在者が増える時期と減る時期を確認し、滞在者の季節変動を把握しよう。

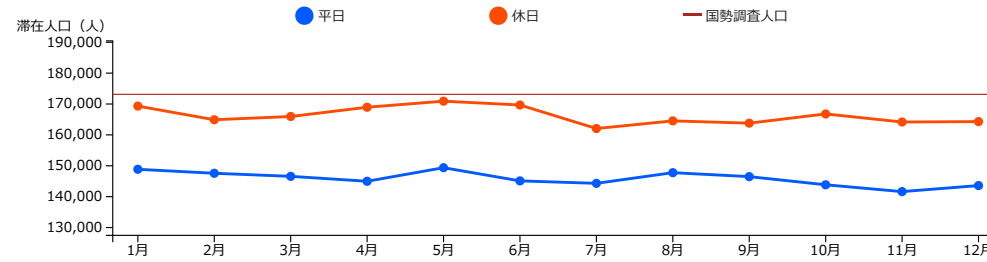
滞在人口の月別推移

兵庫県宝塚市

2021年 14時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

（国勢調査人口：173,134人）



【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」

【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

2021年の14時は休日の滞在人口は5月が最も多く、7月が最も少ない。
平日の滞在人口は5月が最も多く、11月が最も少ない。

【目的】滞在者が増える時期と減る時期を確認し、滞在者の季節変動を把握しよう。

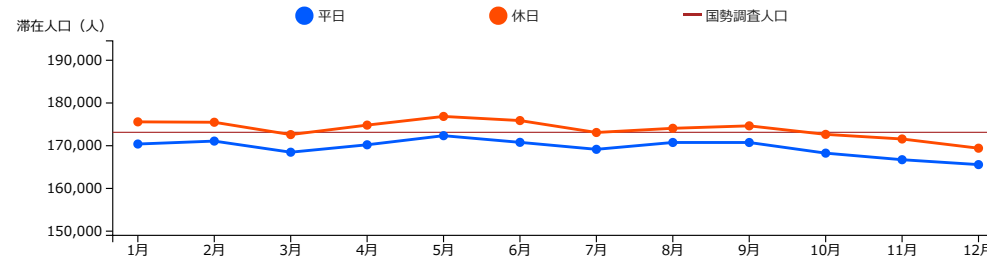
滞在人口の月別推移

兵庫県宝塚市

2021年 20時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

（国勢調査人口：173,134人）



【出典】

株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」

【注記】 +

【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

2021年の20時は休日の滞在人口は5月が最も多く、12月が最も少ない。
平日の滞在人口は5月が最も多く、12月が最も少ない。

【目的】地域に滞在する人がどこから来ているか把握しよう。

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

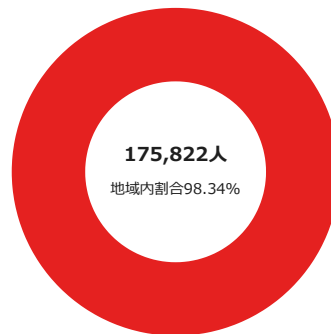
兵庫県宝塚市

2022年6月 平日 4時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

滞在人口合計：178,786人（滞在人口率：1.03倍）
（国勢調査人口：173,134人）

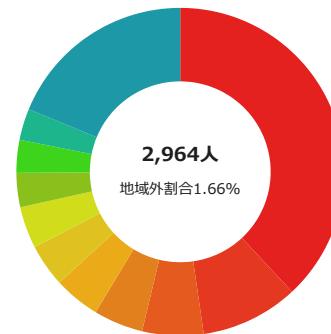
滞在人口 / 都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 兵庫県 175,822人（100.00%）

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大阪府 1,128人（38.06%）
- 2位 東京都 286人（9.65%）
- 3位 神奈川県 179人（6.04%）
- 4位 京都府 145人（4.89%）
- 5位 愛知県 135人（4.55%）
- 6位 広島県 125人（4.22%）
- 7位 千葉県 122人（4.12%）
- 8位 福岡県 100人（3.37%）
- 9位 岡山県 96人（3.24%）
- 10位 埼玉県 92人（3.10%）
- その他 556人（18.76%）

【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

(C) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.

グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)の時間帯が4時、性別が総数、年代が総数（15歳以上80歳未満）における滞在人口の都道府県外ランキングの1位は大阪府となっている。

【目的】地域に滞在する人がどこから来ているか把握しよう。

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

兵庫県宝塚市

2022年6月 平日 10時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

滞在人口合計：143,177人（滞在人口率：0.83倍）
（国勢調査人口：173,134人）

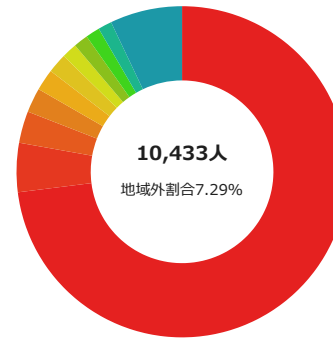
滞在人口 / 都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 兵庫県 132,744人（100.00%）

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大阪府 7,618人（73.02%）
- 2位 京都府 500人（4.79%）
- 3位 東京都 324人（3.11%）
- 4位 奈良県 250人（2.40%）
- 5位 愛知県 219人（2.10%）
- 6位 神奈川県 200人（1.92%）
- 7位 滋賀県 155人（1.49%）
- 8位 岡山県 147人（1.41%）
- 9位 広島県 144人（1.38%）
- 10位 福岡県 140人（1.34%）
- その他 736人（7.05%）

【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」
総務省「国勢調査」

【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)の時間帯が10時、性別が総数、年代が総数（15歳以上80歳未満）における滞在人口の都道府県外ランキングの1位は大阪府となっている。

【目的】地域に滞在する人がどこから来ているか把握しよう。

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

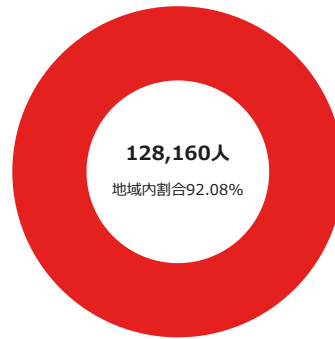
兵庫県宝塚市

2022年6月 平日 14時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

滞在人口合計：139,180人（滞在人口率：0.80倍）
（国勢調査人口：173,134人）

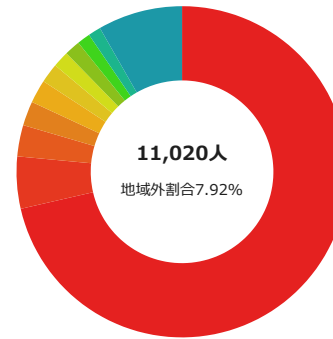
滞在人口 / 都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 兵庫県 128,160人（100.00%）

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大阪府 7,869人（71.41%）
- 2位 京都府 560人（5.08%）
- 3位 東京都 337人（3.06%）
- 4位 奈良県 262人（2.38%）
- 5位 愛知県 251人（2.28%）
- 6位 神奈川県 210人（1.91%）
- 7位 滋賀県 175人（1.59%）
- 8位 岡山県 168人（1.52%）
- 9位 千葉県 141人（1.28%）
- 10位 広島県 136人（1.23%）
- その他 911人（8.27%）

【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」
総務省「国勢調査」

【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)の時間帯が14時、性別が総数、年代が総数（15歳以上80歳未満）における滞在人口の都道府県外ランキングの1位は大阪府となっている。

【目的】地域に滞在する人がどこから来ているか把握しよう。

滞人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

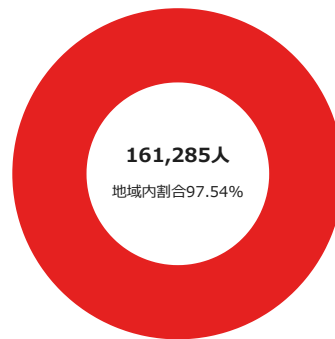
兵庫県宝塚市

2022年6月 平日 20時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

滞人口合計：165,346人（滞人口率：0.96倍）
（国勢調査人口：173,134人）

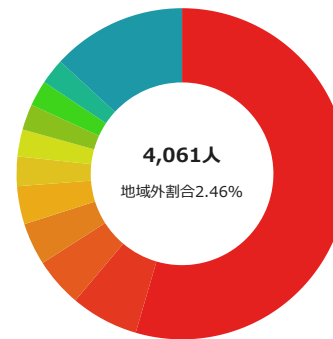
滞人口 / 都道府県内



滞人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 兵庫県 161,285人（100.00%）

滞人口 / 都道府県外



滞人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大阪府 2,214人（54.52%）
- 2位 東京都 269人（6.62%）
- 3位 京都府 195人（4.80%）
- 4位 神奈川県 168人（4.14%）
- 5位 愛知県 151人（3.72%）
- 6位 広島県 117人（2.88%）
- 7位 奈良県 107人（2.63%）
- 8位 福岡県 102人（2.51%）
- 9位 滋賀県 102人（2.51%）
- 10位 千葉県 102人（2.51%）
- その他 534人（13.15%）

【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」
総務省「国勢調査」

【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

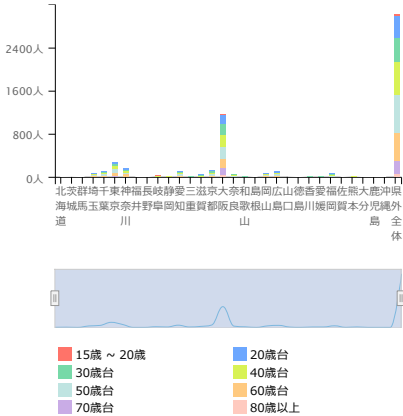
グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)の時間帯が20時、性別が総数、年代が総数（15歳以上80歳未満）における滞人口の都道府県外ランキングの1位は大阪府となっている。

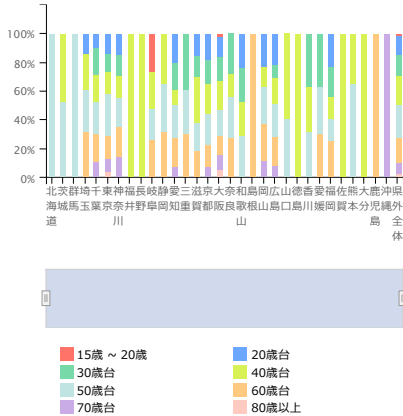
【目的】都道府県外からの滞在者を属性で把握しよう。

兵庫県宝塚市
2022年6月 平日 4時
総数

世代別滞在人口（実数）



世代別滞在人口（率）



【出典】
株式会社 N T T ドコモ・株式会社 ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

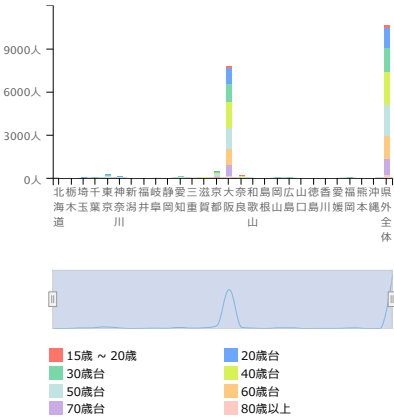
グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)は大阪府、東京都、神奈川県から訪問者が多い。
大阪府については、県外全体の割合と比較して 8 0 歳以上、 7 0 歳台の滞在人口の割合が高い。
東京都については、県外全体の割合と比較して 5 0 歳台、 8 0 歳以上の滞在人口の割合が高い。
神奈川県については、県外全体の割合と比較して 7 0 歳台、 6 0 歳台の滞在人口の割合が高い。

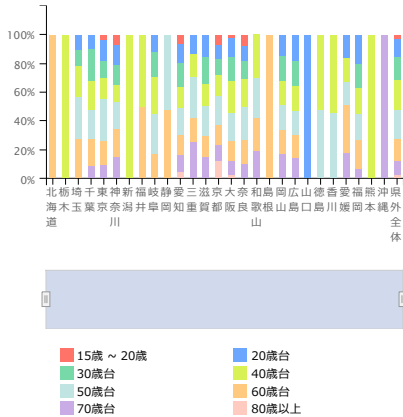
【目的】都道府県外からの滞在者を属性で把握しよう。

兵庫県宝塚市
2022年6月 平日 10時
総数

世代別滞在人口（実数）



世代別滞在人口（率）



【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

グラフから
読み取れること

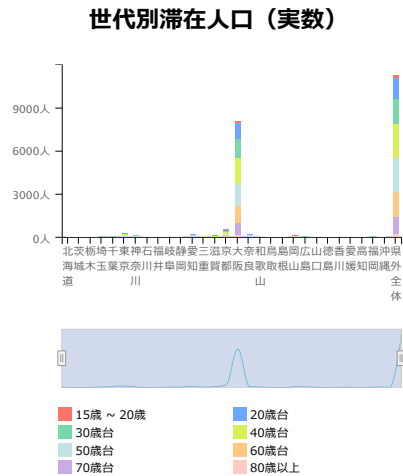
2022年6月(平日)は大阪府、京都府、東京都から訪問者が多い。
大阪府については、県外全体の割合と比較して30歳台、40歳台の滞在人口の割合が高い。
京都府については、県外全体の割合と比較して80歳以上、15歳台の滞在人口の割合が高い。
東京都については、県外全体の割合と比較して50歳台、60歳台の滞在人口の割合が高い。

【目的】都道府県外からの滞在者を属性で把握しよう。

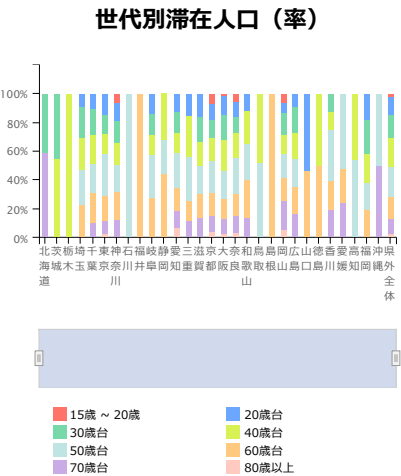
2022年6月 平日 14時

総数

世代別滞在人口（実数）



世代別滞在人口（率）



【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

【注記】 +
【参照×二ユ一】 +

(C) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.

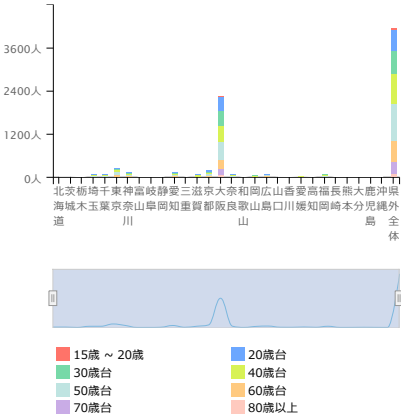
グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)は大阪府、京都府、東京都から訪問者が多い。
大阪府については、県外全体の割合と比較して40歳台、30歳
京都府については、県外全体の割合と比較して15歳台、80歳
東京都については、県外全体の割合と比較して50歳台、20歳

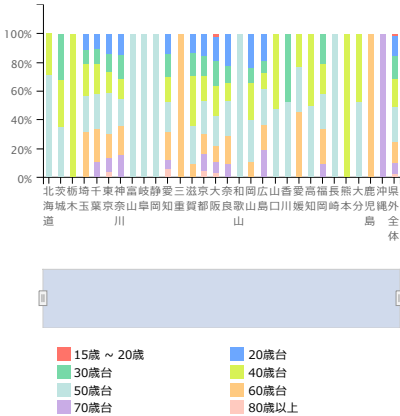
【目的】都道府県外からの滞在者を属性で把握しよう。

兵庫県宝塚市
2022年6月 平日 20時
総数

世代別滞在人口（実数）



世代別滞在人口（率）



【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

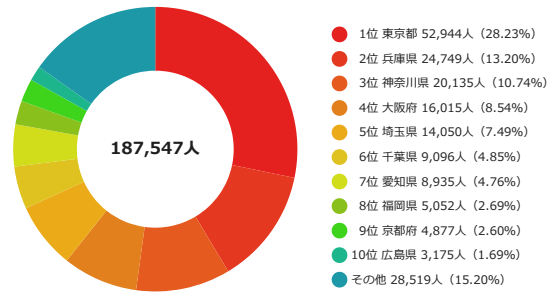
グラフから
読み取れること

2022年6月(平日)は大阪府、東京都、京都府から訪問者が多い。
大阪府については、県外全体の割合と比較して30歳台、20歳台の滞在人口の割合が高い。
東京都については、県外全体の割合と比較して50歳台、60歳台の滞在人口の割合が高い。
京都府については、県外全体の割合と比較して70歳台、80歳以上の滞在人口の割合が高い。

【目的】 地域への宿泊者がどこから来るのか把握しよう。

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

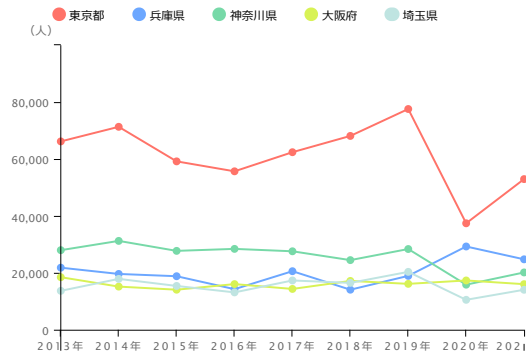
兵庫県宝塚市
2021年



【出典】
観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移

兵庫県宝塚市



グラフから
読み取れること

2021年の居住都道府県別の延べ宿泊者数（自都道府県を除く）は東京都が最も多く、2020年と比較して増加している。

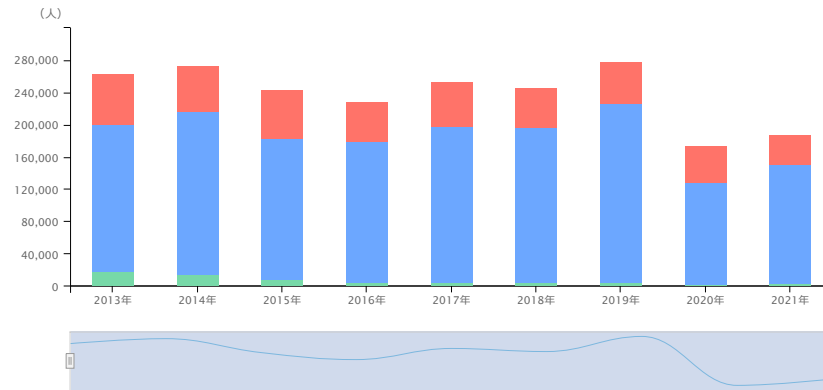
【目的】 地域への宿泊者の属性を性別の面から把握しよう。

延べ宿泊者数（総数）の推移

兵庫県宝塚市

性別

■ 大人（男性） ■ 大人（女性） ■ 小人



【出典】
観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

グラフから
読み取れること

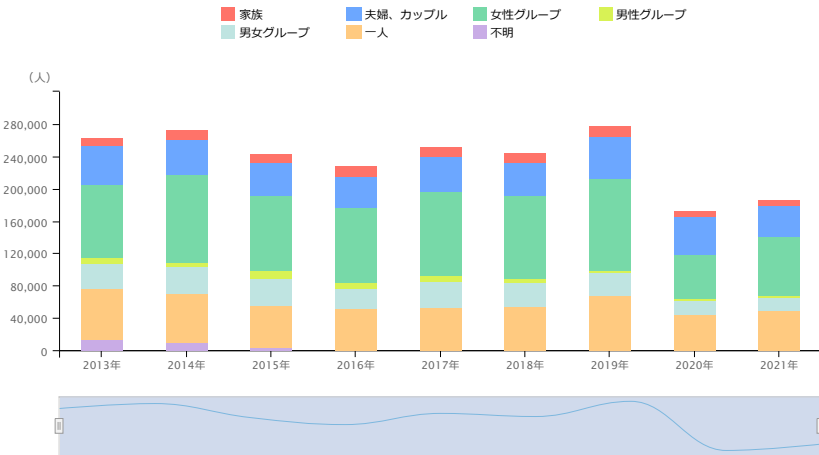
2021年は2020年と比較して、延べ宿泊者数は大人（男性）は減少、大人（女性）は増加、小人は増加となっている。

【目的】 地域への宿泊者の属性を参加形態の面から把握しよう。

延べ宿泊者数（総数）の推移

兵庫県宝塚市

参加形態別



【出典】
観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

グラフから
読み取れること

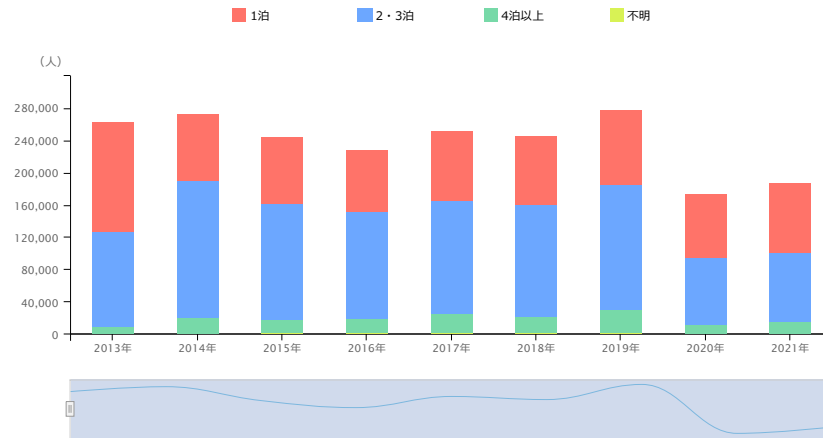
2021年は女性グループでの宿泊が最も多く、2020年と比較して増加している。

【目的】 地域への宿泊者の属性を宿泊数の面から把握しよう。

延べ宿泊者数（総数）の推移

兵庫県宝塚市

宿泊日数別



【出典】
観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」

【注記】 +

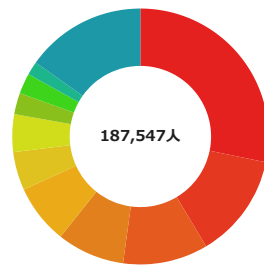
【参照メニュー】 +

グラフから
読み取れること

2021年は1泊での宿泊が最も多く、2020年と比較して増加している。

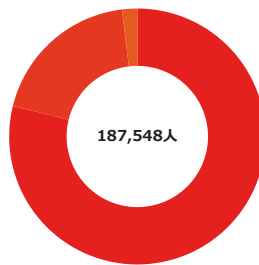
【目的】 地域への宿泊者の属性や傾向を確認しよう。

居住都道府県別



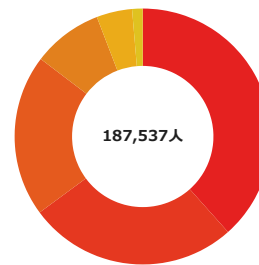
- 1位 東京都 52,944人 (28.23%)
- 2位 兵庫県 24,749人 (13.20%)
- 3位 神奈川県 20,135人 (10.74%)
- 4位 大阪府 16,015人 (8.54%)
- 5位 埼玉県 14,050人 (7.49%)
- 6位 千葉県 9,096人 (4.85%)
- 7位 愛知県 8,935人 (4.76%)
- 8位 福岡県 5,052人 (2.69%)
- 9位 京都府 4,877人 (2.60%)
- 10位 広島県 3,175人 (1.69%)
- その他 28,519人 (15.20%)

性別



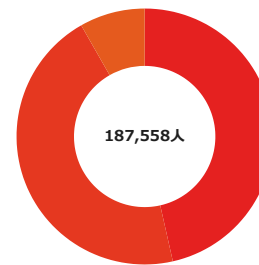
- 1位 大人（女性） 147,859人 (78.84%)
- 2位 大人（男性） 36,098人 (19.25%)
- 3位 小人 3,591人 (1.91%)

参加形態別



- 1位 女性グループ 72,032人 (38.41%)
- 2位 一人 49,650人 (26.47%)
- 3位 夫婦、カップル 38,380人 (20.47%)
- 4位 男女グループ 16,546人 (8.82%)
- 5位 家族 8,429人 (4.49%)
- 6位 男性グループ 2,500人 (1.33%)

宿泊日数別



- 1位 1泊 87,156人 (46.47%)
- 2位 2・3泊 84,930人 (45.28%)
- 3位 4泊以上 15,472人 (8.25%)

【出典】
観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」

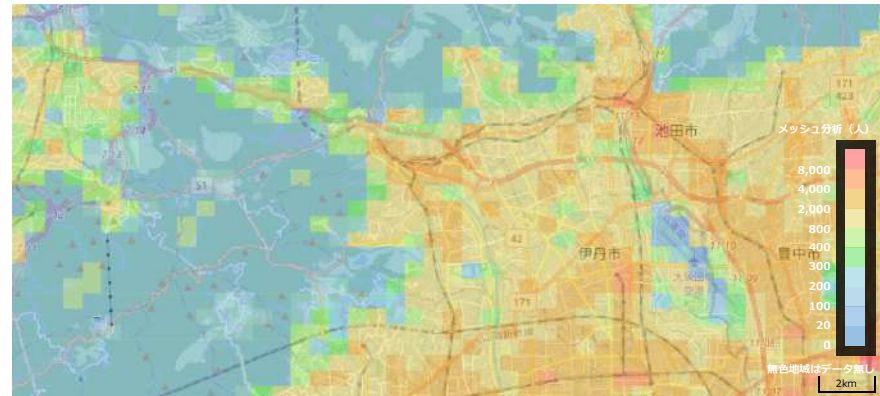
【注記】 +
【参照メニュー】 +

グラフから
読み取れること

2021年に兵庫県宝塚市において、
居住都道府県別（自都道府県を除く）については、兵庫県の割合が高い。
性別については、大人（女性）の割合が高い。
参加形態別については、女性グループの割合が高い。
宿泊日数については、1泊の割合が高い。

【目的】 どこに人が集まっているか確認しよう。

兵庫県宝塚市
2021年3月（平日）
500mメッシュ単位の人口を集計



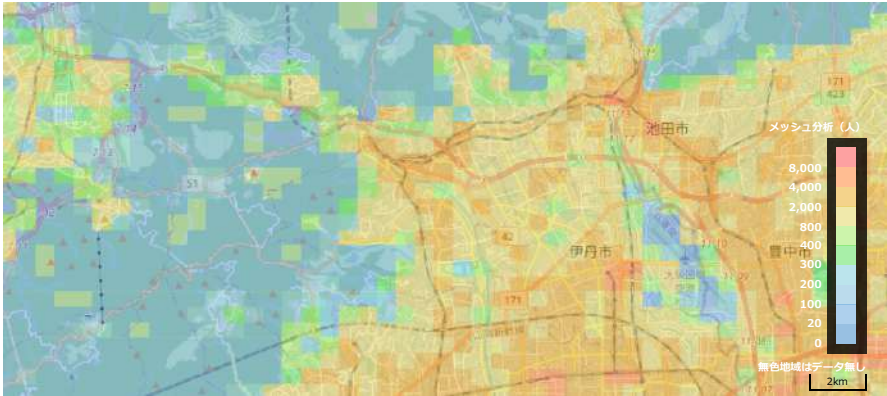
【出典】
「混雑統計®」 ©ZENRIN DataCom CO., LTD.
(<https://www.zenrin-datacom.net/business/congestion/>)
【注記】 +
【参照メニュー】 +

グラフの見方

地図の色は、人の集まりを表す。赤色に近いほど人が多く集まる場所である。（駅周辺、近隣主要都市、観光地など）

【目的】 どこに人が集まっているか確認しよう。

兵庫県宝塚市
2021年3月（休日）
500mメッシュ単位の人口を集計



【出典】
「混雑統計®」 ©ZENRIN DataCom CO., LTD.
(<https://www.zenrin-datacom.net/business/congestion/>)
【注記】 +
【参照メニュー】 +

グラフの見方

地図の色は、人の集まりを表す。赤色に近いほど人が多く集まる場所である。（駅周辺、近隣主要都市、観光地など）

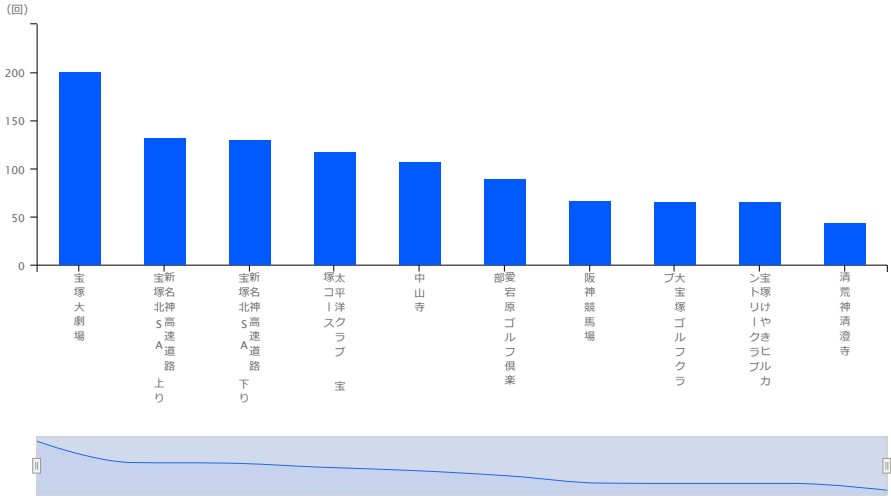
【目的】 観光の目的地となっている施設を把握しよう。

指定地域の目的地一覧

兵庫県宝塚市

2021年3月（平日）

自動車



【出典】
株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) NAVITIME JAPAN](#)

グラフの見方

前ページの流動人口メッシュを確認し、人口集中地域（赤いメッシュ）と本ページの目的地が一致しているかを確認する。
観光スポットに人が集まっていないのであれば、集まらない要因の分析を進めていくのはいかがでしょうか。

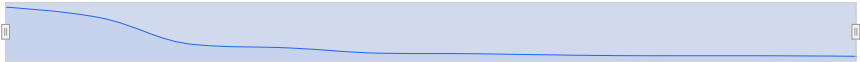
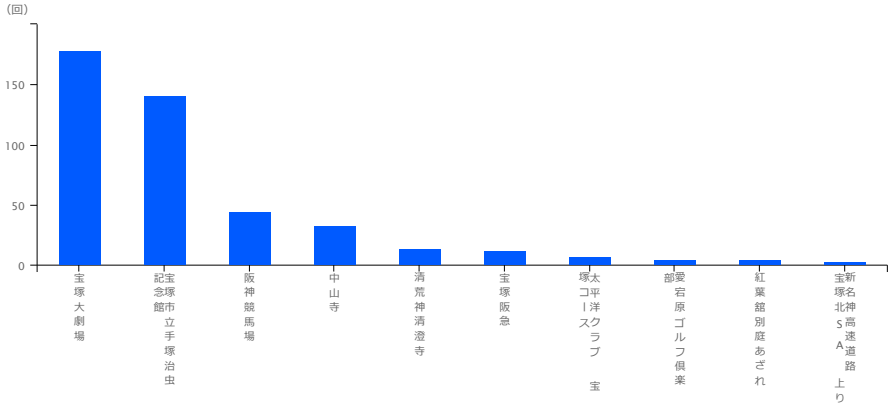
【目的】 観光の目的地となっている施設を把握しよう。

指定地域の目的地一覧

兵庫県宝塚市

2021年3月（平日）

公共交通



【出典】
株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) NAVITIME JAPAN](#)

グラフの見方

前ページの流動人口メッシュを確認し、人口集中地域（赤いメッシュ）と本ページの目的地が一致しているかを確認する。
観光スポットに人が集まっていないのであれば、集まらない要因の分析を進めていくのはいかがでしょうか。

【目的】 滞在者情報と宿泊者情報を把握しよう。

2021年

	滞在人口最多月 (休日)	滞在人口最少月 (休日)	年間都道府県外訪問者 (14時)	滞在人口最多都道府県 (自都道府県を除く)	年間宿泊者数 (自都道府県を除く)
兵庫県	－	－	2,913,422人	－	6,229,221人
兵庫県宝塚市	5月	7月	158,328人	大阪府	162,798人

【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」
【注記】 +
【参照メニュー】 +

[\(C\) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.](#)

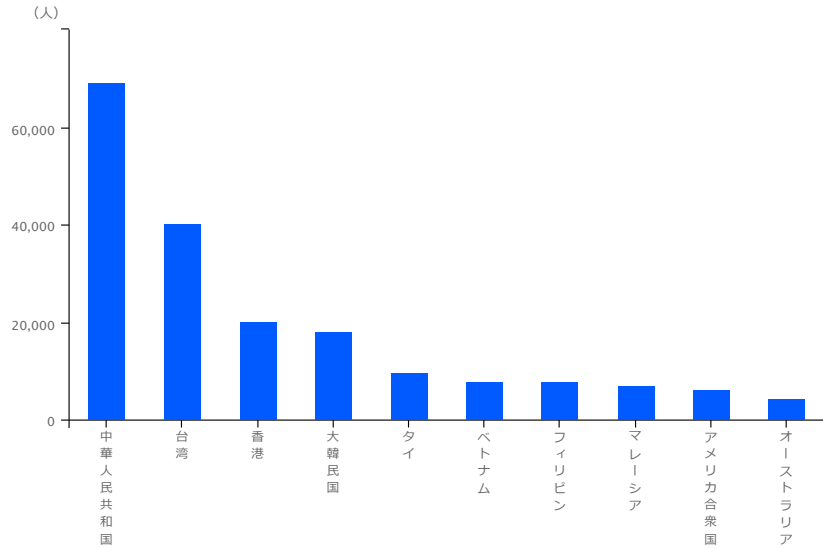
まとめの見方

自治体への訪問者数と宿泊者数を把握し、観光客を宿泊者として取り入れられているか確認する。

【目的】国籍別訪問者数を確認し、外国人訪問客の現状を把握しよう。

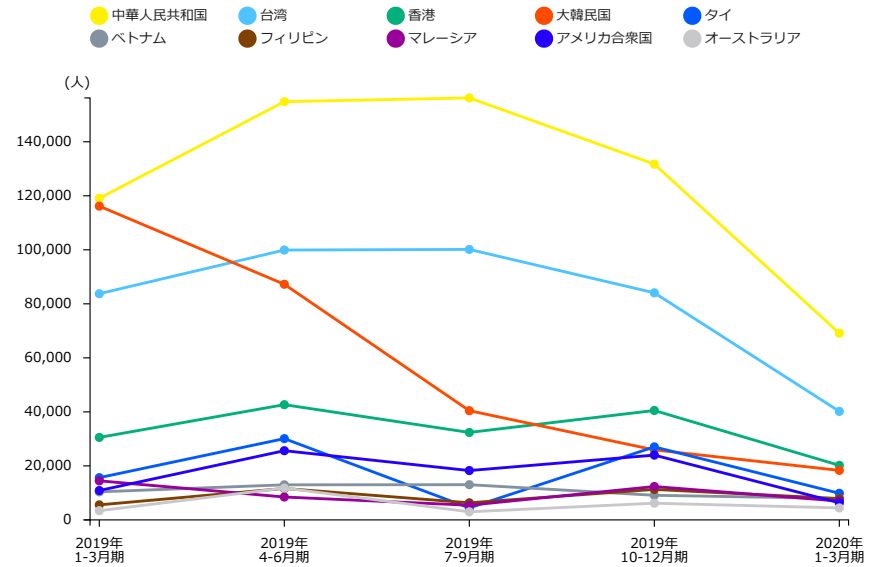
国・地域別訪問者数

兵庫県
2020年 1-3月期
すべての目的



国・地域別訪問者数の推移

兵庫県
2019年・2020年
すべての目的



【出典】
観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

【注記】
すべての目的には、観光・レジャー目的、親族・知人訪問、企業ミーティング、研修等が含まれる。
すべての目的の場合、「地域別の訪日外客数＝地域別の訪問率×訪日外客数」により推計している。
観光・レジャー目的の場合、「地域別の訪日外客数＝地域別の訪問率【観光・レジャー目的】×訪日外客数×旅行目的別構成比【観光・レジャー目的】」により推計している。
端数処理の都合により「観光・レジャー目的の訪日外客数」が「すべての目的の訪日外客数」を上回る場合がある。
2011年の年間データは、4月から12月の9ヶ月間。
インドネシア、フィリピン、ベトナムについては、2014年1-3月からのデータ。
新型コロナウイルス感染症の影響により、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の四半期調査は2020年4～6月期から2021年7～9月期は中止されている。また、2021年10～12月期から2022年1～3月期および2020・2021年の年間値の国籍・地域別、都道府県別の数値は公表されていない。

【参照メニュー】
左図：観光マップ→外国人訪問分析→指定した都道府県で分析する
右図：観光マップ→外国人訪問分析→指定した都道府県で分析する→推移を見る

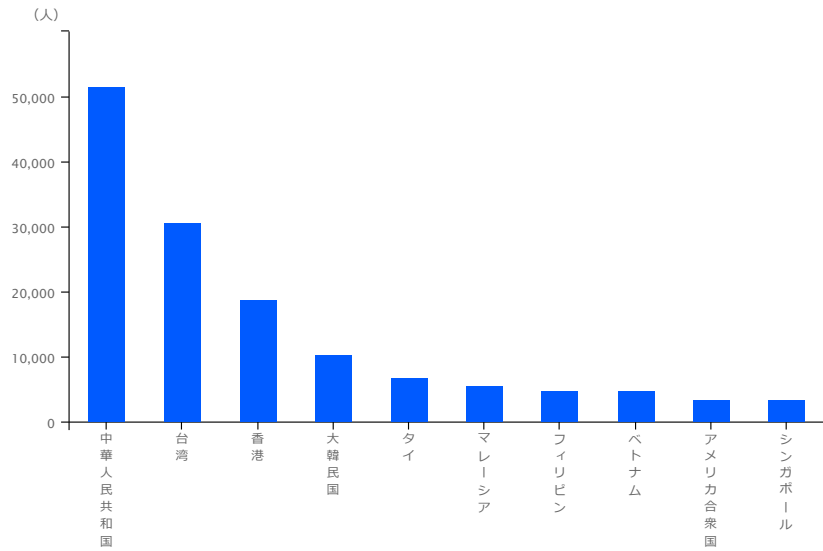
【目的】国籍別訪問者数を確認し、外国人訪問客の現状を把握しよう。

国・地域別訪問者数

兵庫県

2020年 1-3月期

観光・レジャー目的

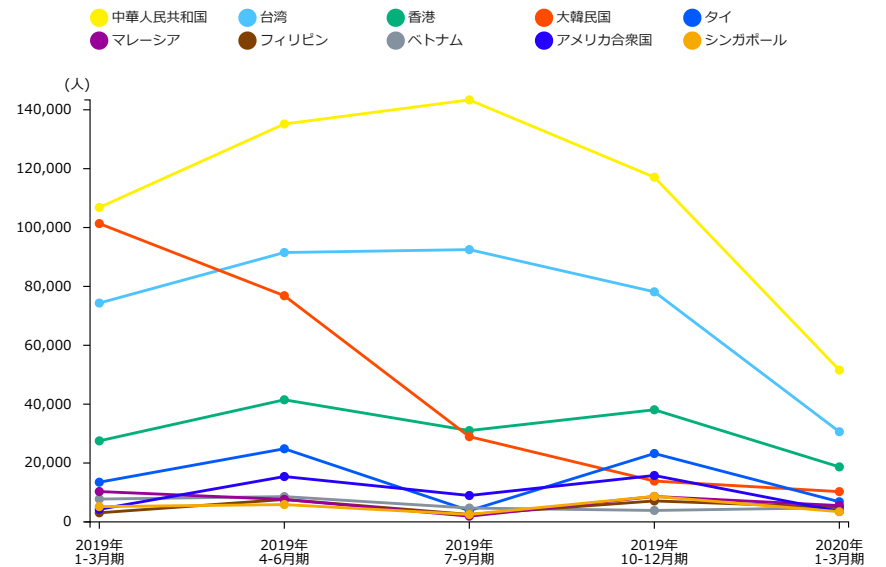


国・地域別訪問者数の推移

兵庫県

2019年・2020年

観光・レジャー目的



【出典】
観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

【注記】
すべての目的には、観光・レジャー目的、親族・知人訪問、企業ミーティング、研修等が含まれる。
すべての目的の場合、「地域別の訪日外客数＝地域別の訪問率×訪日外客数」により推計している。
観光・レジャー目的の場合、「地域別の訪日外客数＝地域別の訪問率【観光・レジャー目的】×訪日外客数×旅行目的別構成比【観光・レジャー目的】」により推計している。
端数処理の都合により「観光・レジャー目的の訪日外客数」が「すべての目的の訪日外客数」を上回る場合がある。
2011年の年間データは、4月から12月の9ヶ月間。
インドネシア、フィリピン、ベトナムについては、2014年1-3月からのデータ。
新型コロナウイルス感染症の影響により、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の四半期調査は2020年4～6月期から2021年7～9月期は中止されている。また、2021年10～12月期から2022年1～3月期および2020・2021年の年間値の国籍・地域別、都道府県別の数値は公表されていない。
【参照メニュー】
左図：観光マップ→外国人訪問分析→指定した都道府県で分析する
右図：観光マップ→外国人訪問分析→指定した都道府県で分析する→推移を見る

示唆

2020年に兵庫県を訪問した外国人の国籍で多かったのは、中華人民共和国、台湾、香港。

【目的】都道府県を訪問する外国人が出入国している空港を確認し、外国人観光客向けプロモーションの参考にしよう。

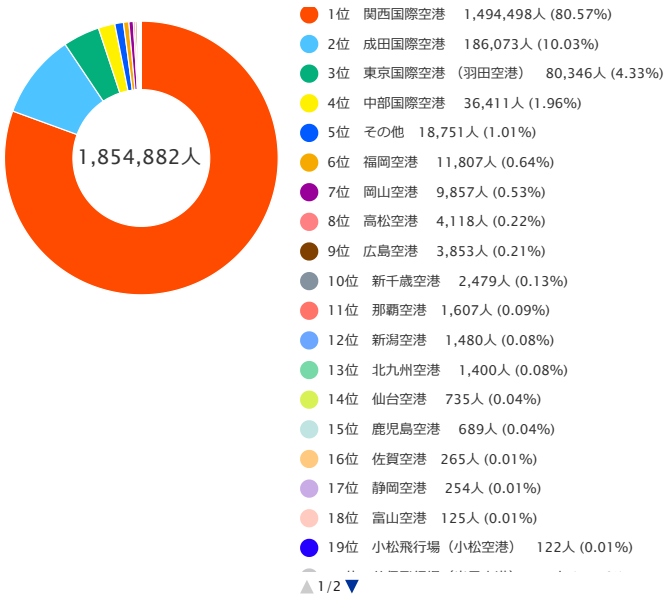
入国空港、出国空港内訳

表示年・期間：2019年すべての期間

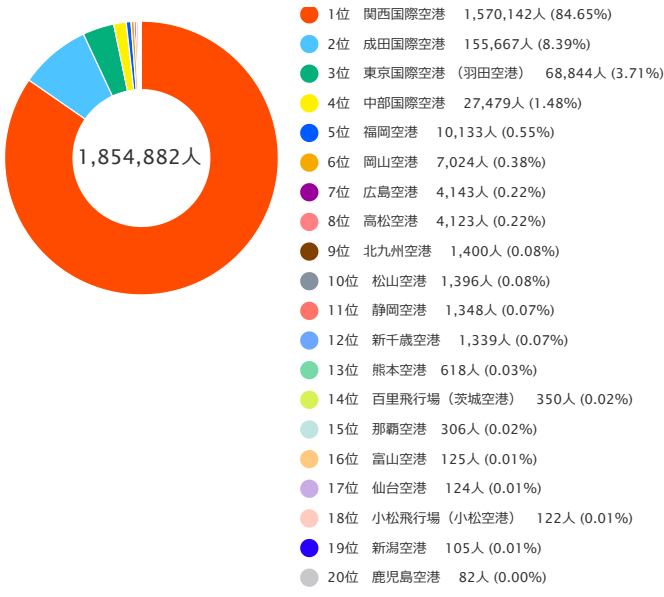
指定地域：兵庫県

旅行目的：全目的

入国空港



出国空港



【出典】
国土交通省「FF-Data（訪日外国人流動データ）」より作成

【注記】
都道府県ごとの訪問者数について、同一人物が1回の旅行で複数回同一都道府県を訪問した場合、重複カウントして訪問者数を集計している。
第1四半期・第2四半期に調査が実施されていない場合、入出国空港内訳に調査対象外の空港は表示されない。調査対象空港一覧を参照の上、四半期ごとの調査対象空港が異なる点に注意が必要。
四半期別の合計値は必ずしも年間値と一致しない。
出典データ内に含まれる海港データは集計対象外としている。
入出国空港内訳に表示される「その他」は、出国港「その他空海港」、出発地「不明空海港」「その他空海港」の値が集計されている。
旅行目的について、2018年より調査での変更に合わせて区分の変更を行っているため、2017年以前の区分とは一致しない。
調査対象空港、データの詳細については[こちら](#)

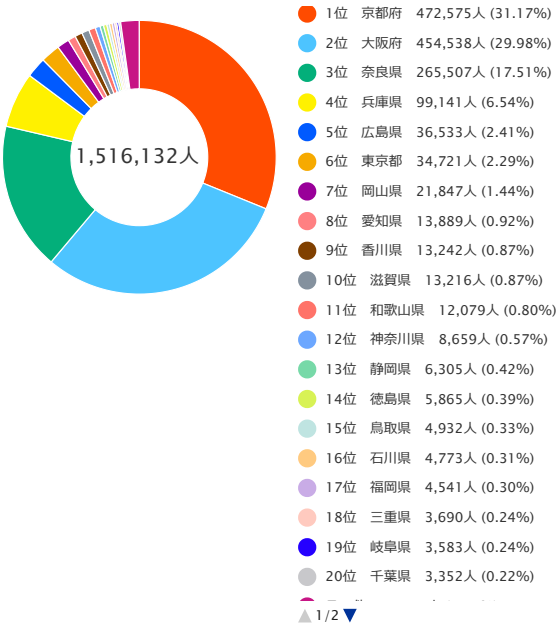
【参照メニュー】
観光マップ→外国人入出国空港分析→指定した都道府県で分析する

【目的】外国人がどこからきて、どこへ行くのかを確認しよう。

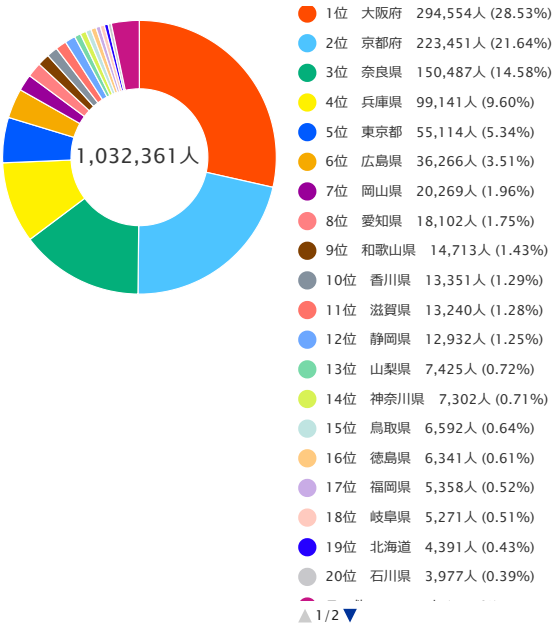
滞在地域内訳

表示年・期間：2019年すべての期間
指定地域：兵庫県
旅行目的：全目的

指定地域の滞在直前に滞在した地域



指定地域の滞在直後に滞在した地域



【出典】
国土交通省「FF-Data（訪日外国人流動データ）」より作成

【注記】
都道府県ごとの訪問者数について、同一人物が1回の旅行で複数回同一都道府県を訪問した場合、重複カウントして訪問者数を集計している。
同一都道府県内の流動も集計対象としている。
旅行目的について、2018年より調査での変更に合わせて区分の変更を行っているため、2017年以前の区分とは一致しない。
データの詳細については[こちら](#)

【参照メニュー】
観光マップ→外国人移動相関分析→グラフを表示

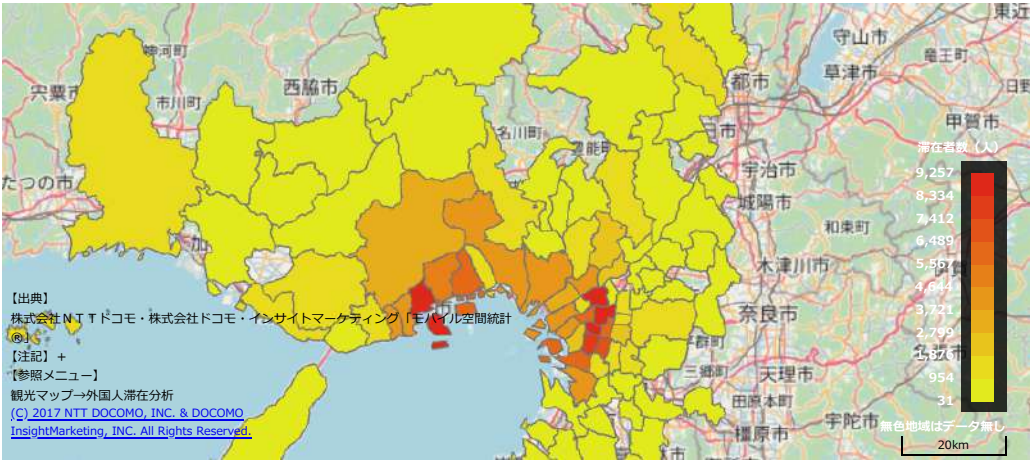
示唆
兵庫県に滞在した外国人がその直前に滞在した地域で最も多いのは京都府であり、直後に滞在した地域で最も多いのは大阪府である。

【目的】昼夜間の外国人滞在人口を確認しよう。

兵庫県宝塚市

表示年月：2022年4月

表示時間帯：昼間（10～18時）



示唆

2022年4月の宝塚市の外国人滞在人口は昼間と夜間で同水準となっています。[宿泊施設](#)や[観光施設](#)を深堀してはいかがでしょうか。

【目的】昼夜間の外国人滞在人口を確認しよう。

兵庫県宝塚市

表示年月：2022年4月

表示時間帯：夜間（2～5時）



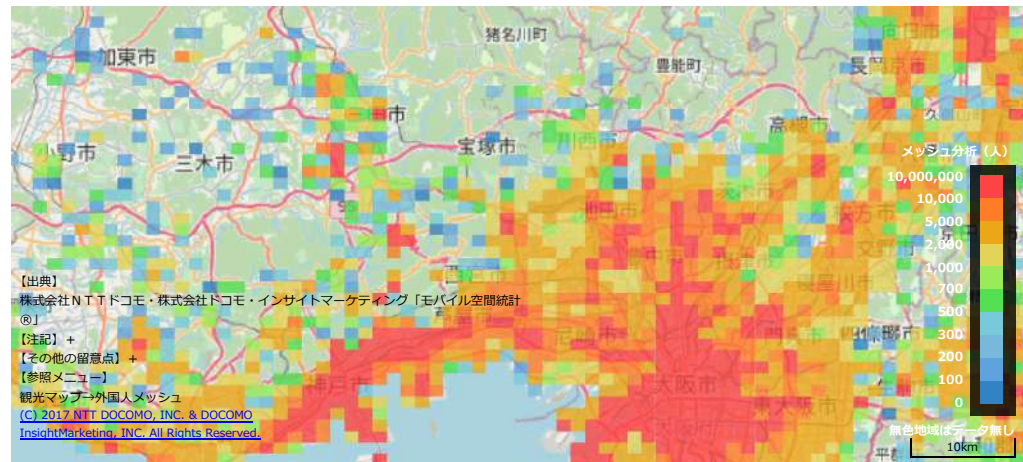
示唆

2022年4月の宝塚市の外国人滞在人口は昼間と夜間で同水準となっています。[宿泊施設](#)や[観光施設](#)を深堀してはいかがでしょうか。

【目的】どこに外国人が集まっているかを確認しよう。

兵庫県宝塚市

表示期間：2017年8月～2018年7月



グラフの 見方

地図の色は、人の集まりを表す。赤色に近いほど人が多く集まる場所である。（駅周辺、近隣主要都市、観光地など）
外国人の集まる地域を確認して、当該地域からの誘客を検討したり、誘客の点で連携できる自治体を探す際の参考とする。

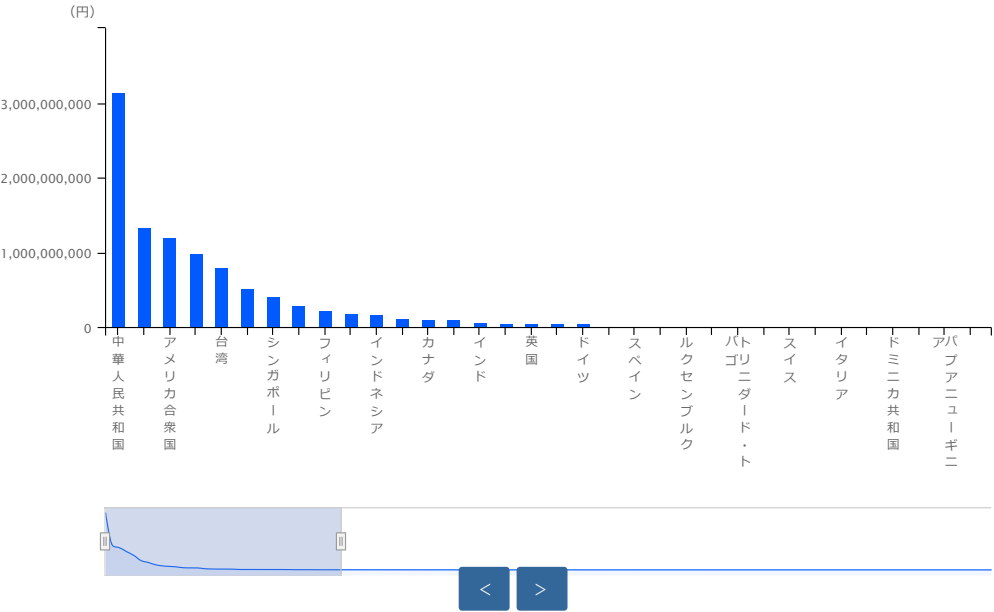
【目的】国籍別の都道府県内消費額を確認し、誘客すべき国籍の特定の参考にしよう。

国籍別消費額

兵庫県

2020年指定なし

すべての大分類 > すべての中分類



【出典】
ピザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社のカードデータを再編加工

【注記】
ここでの消費額・取引件数とは、出典元のデータを基に、カード発行国の属する地域別のシェア率等を利用して「海外発行のクレジットカードを使用して日本国内で消費されたすべての取引に関する金額・件数」を推計したものである。
なお、シェア率の算定には一定の時間を要するため、最新表示年の消費額・取引件数は、翌表示年の更新時に改定する場合がある。
取引単価=消費額÷取引件数
2019年1月以降のデータについてはシェア率算出の基準を変更しているため、2018年12月以前の数値と連続しない。

【参照メニュー】
消費マップ→外国人消費の比較（クレジットカード）→指定した都道府県で分析する

示唆 2020年に兵庫県を訪問した外国人のうち消費額が多かったのは、中華人民共和国、香港、アメリカ合衆国。

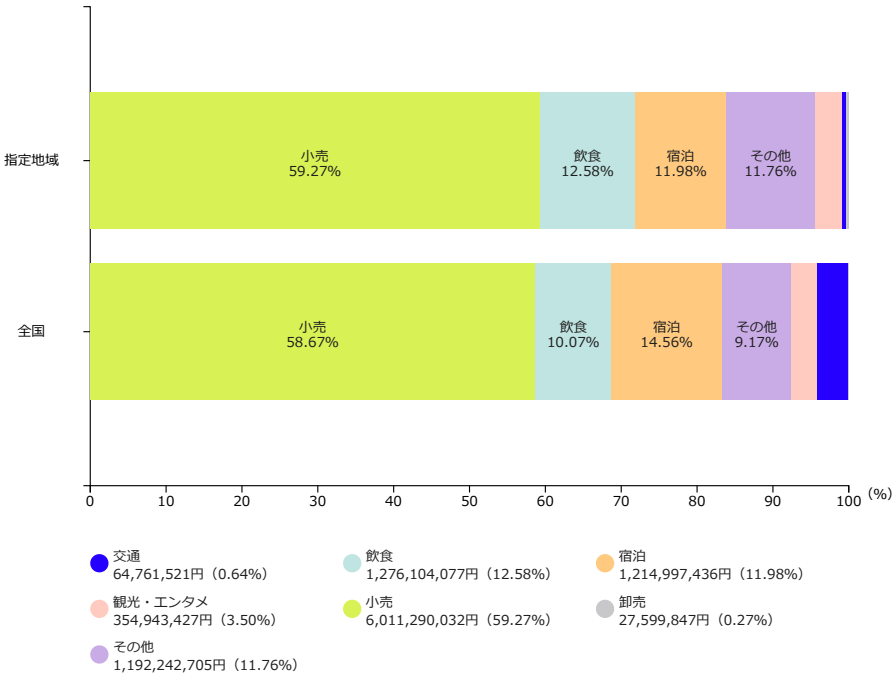
【目的】 国籍別の都道府県内消費構成を確認し、全国と比較した地域の外国人消費の特徴を把握しよう。

部門別消費額の構成割合

指定地域: 兵庫県

表示年月: 2020年指定なし

指定国・地域: すべての地域 > すべての国・地域

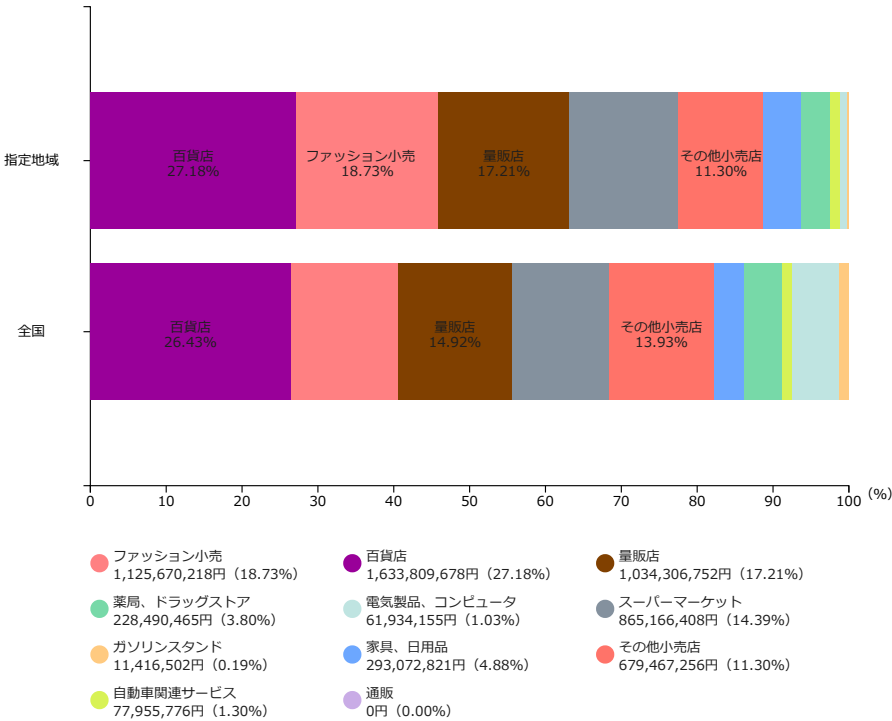


小売

指定地域: 兵庫県

表示年月: 2020年指定なし

指定国・地域: すべての地域 > すべての国・地域



【出典】
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社のカードデータを再編加工

【注記】
ここでの消費額とは、出典元のデータを基に、カード発行国の属する地域別のシェア率等を利用して「海外発行のクレジットカードを使用して日本国内で消費されたすべての取引に関する金額」を推計したものである。
なお、シェア率の算定には一定の時間を要するため、最新表示年の消費額は、翌表示年の更新時に改定する場合がある。
2019年1月以降のデータについてはシェア率算出の基準を変更しているため、2018年12月以前の数値と連続しない。

【参照メニュー】
消費マップ→外国人消費の構造（クレジットカード）→横棒グラフで割合を見る

示唆 2020年にすべての地域で全国と比べて消費構成が高かったのは小売、飲食、その他、観光・エンタメ、卸売である。

【目的】 自治体に訪問する外国人の傾向を把握しよう。

兵庫県宝塚市

順位	訪問者が多い国籍(※1)	入国者が多い空港(※2)	出国者が多い空港(※2)	滞在直前に滞在した地域(※2)	滞在直後に滞在した地域(※2)	滞在者が多い国籍(昼間)(※3)	滞在者が多い国籍(夜間)(※3)	消費額が多い国籍(※4)	消費額が多い国籍における 最多の消費項目(※4)
1位	中華人民共和国	関西国際空港	関西国際空港	京都府	大阪府	中華人民共和国	中華人民共和国	中華人民共和国	小売 (-0.68%)
2位	台湾	成田国際空港	成田国際空港	大阪府	京都府	ベトナム	ベトナム	香港	小売 (+4.18%)
3位	香港	東京国際空港(羽田空港)	東京国際空港(羽田空港)	奈良県	奈良県	インドネシア	インドネシア	アメリカ合衆国	小売 (+10%)

() 内は全国の割合と比較した数値

【出典】

項目ごと、データの出典元が異なることに注意。

(※1)2018年 観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」

(※2)2017年 国土交通省「FF-Data(訪日外国人流動データ)」より作成

(※3)2019年 株式会社N T Tドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」

(※4)2016年 ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社のカードデータを再編加工

まとめの
見方

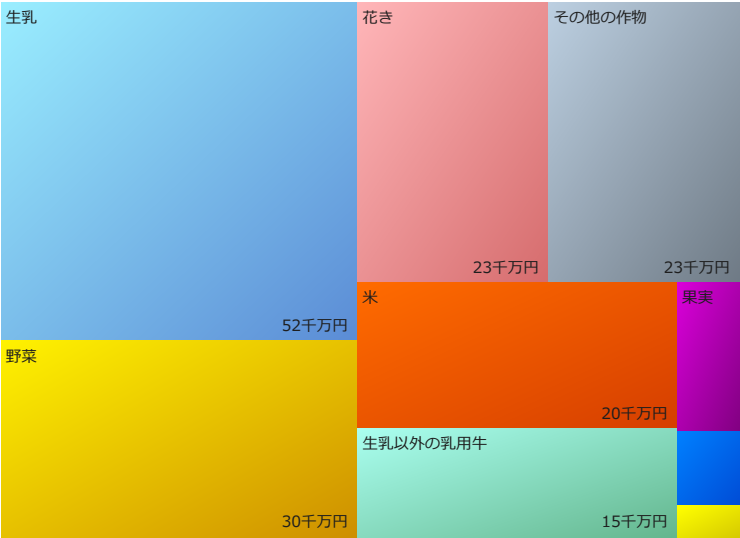
- ・訪問者数が多い国籍を把握する。
- ・入国者／出国者が多い空港を把握する。
- ・昼間／夜間の滞在者が多い国籍を把握する。
- ・訪問者数が多い国籍／最多の消費項目を把握する。

【目的】 農業産出額を用いて、地域の農業の全体像を把握しよう。

品目別 農業産出額

兵庫県宝塚市

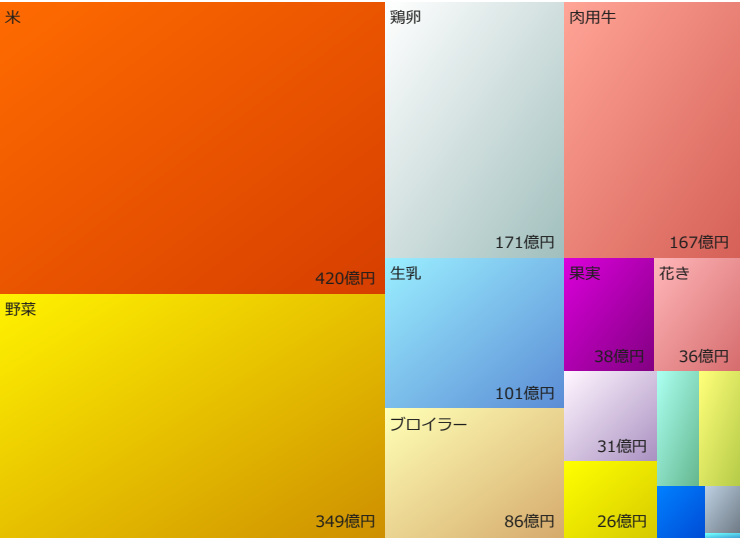
市町村別農業産出額（推計）：168千万円



品目別 農業産出額

兵庫県

都道府県別農業産出額及び生産農業所得：1,478億円



【出典】

都道府県単位

農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」

市区町村単位

農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】

「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「ブロイラー」を減じた値を含む。

【参照メニュー】

産業構造マップ→農業→農業の構造

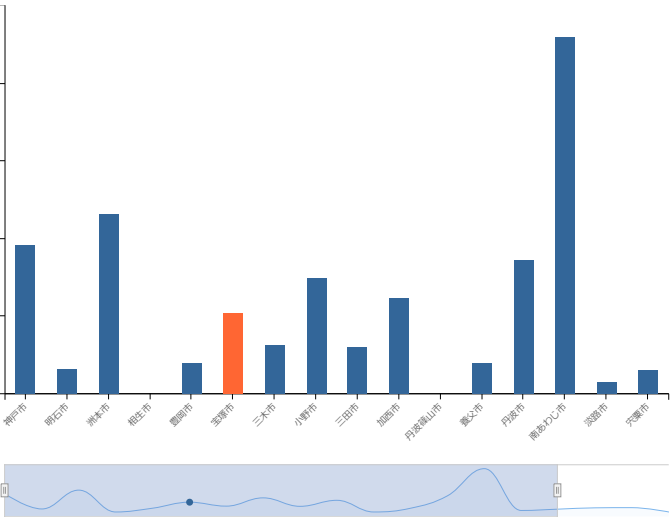
グラフから
読み取れること

農業全体に占める各品目について、2020年の農業産出額を確認する。

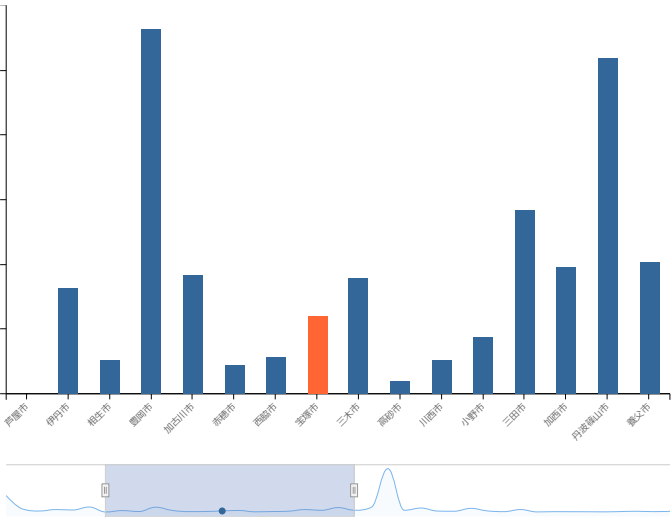
【目的】地域内の上位1、2の農業産出額を把握し、他地域と比較してみよう。

2020年 兵庫県宝塚市

部門別農業産出額_生乳（千万円）



部門別農業産出額_野菜（千万円）



【出典】
農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」
農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」、農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
【注記】
「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「ブロイラー」を減じた値を含む。
【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農業産出額→農業産出額（総額）を加工

グラフから
読み取れること

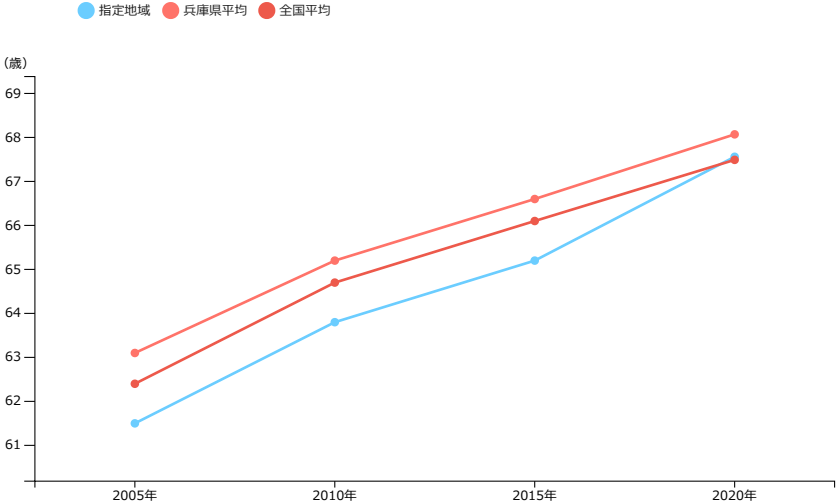
2020年の農業産出額の1位は「生乳」、2位は「野菜」であり、グラフには表示されていないが3位は「花き」である。
県内における「生乳」の農業産出額は5位、「野菜」は2位である。

【目的】農業経営者の年齢構成を把握し、年齢構成の変化を確認しよう。

農業経営者の平均年齢

指定地域：兵庫県宝塚市

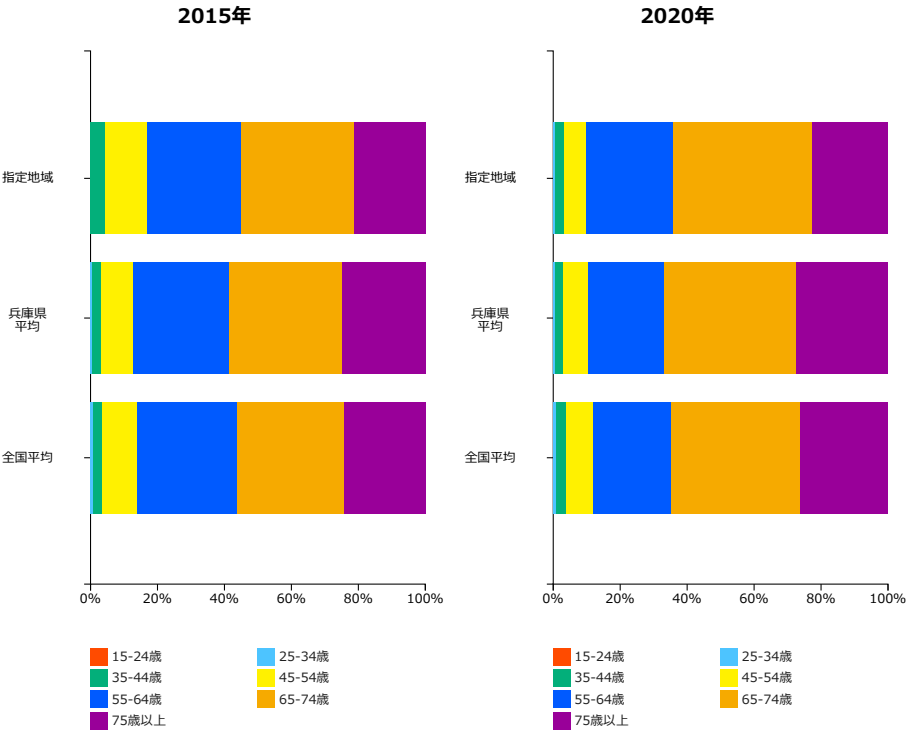
性別：総数



農業経営者の年齢構成

指定地域：兵庫県宝塚市

性別：総数



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
農業経営者：農業経営の管理運営の中心となっている者をいい、生産品目や規模、請け負う農作業の決定、具体的な作業時期や作業体制、労働や資本の投入、資金調達といった経営全般を主宰する者をいう。
基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。
農業経営者、基幹的農業従事者は、2015年までは販売農家（経営耕地面積が30 a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家）、2020年は個人経営体（個人（世帯）で事業を行う法人化していない経営体）の値であるため、2015年までの結果と2020年の結果は接続しない。
農業就業人口：農業従事者のうち調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者、農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち自営農業が主者の人口をいう。なお、農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

2020年農林業センサスでは、「農業経営者」から「経営主」に表象名が変更されている。（定義は同一）
2020年農林業センサスでは、「農業就業人口」は把握されていないため、2015年までの表示となっている。

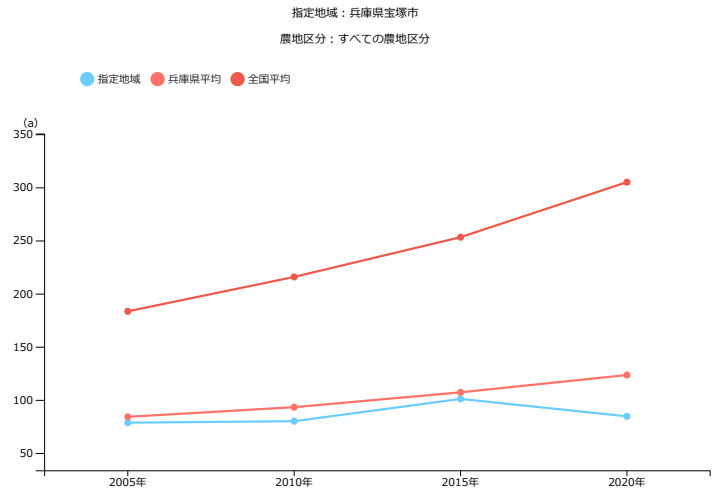
【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農業者分析→年齢構成・平均年齢

グラフから
読み取れること

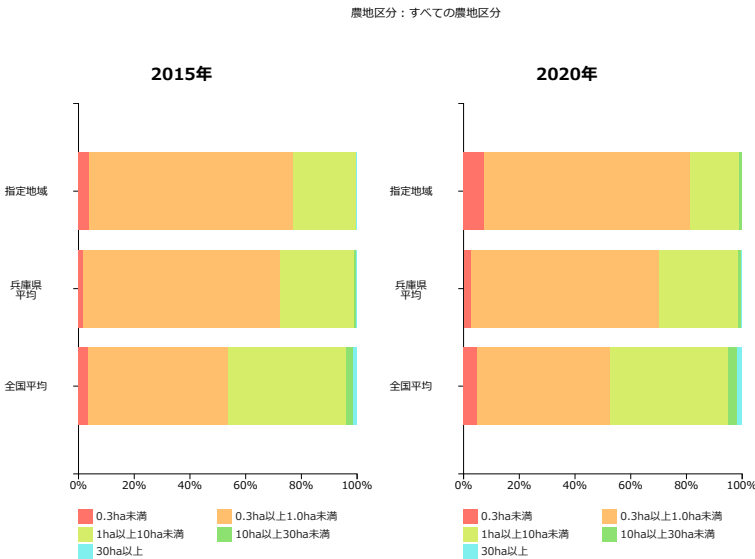
2020年の農業経営者の平均年齢は、全国平均より高い。
2020年の44歳以下の農業経営者の割合は、2015年と比較して0.9ポイント減少している。

【目的】経営体あたりの経営耕地面積を把握し、経営耕地面積ベースでの経営規模を確認しよう。

経営耕地面積（経営体あたり）



経営耕地面積規模別の経営体の割合



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】
経営耕地面積（経営体あたり）＝経営耕地面積÷経営体
経営体：経営耕地のある経営体
【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農地分析→経営耕地面積

グラフから
読み取れること

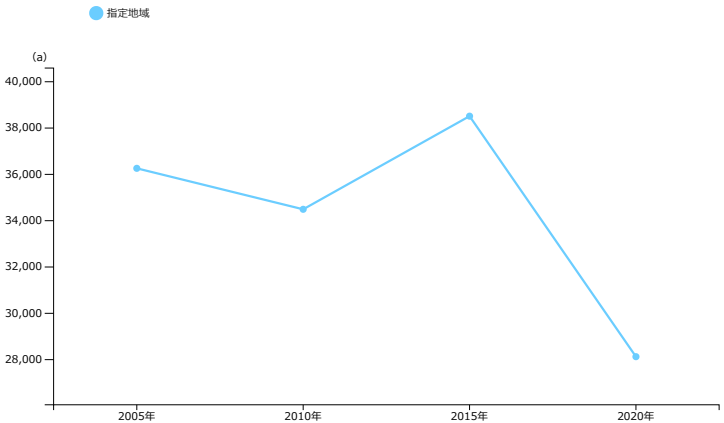
2020年の経営体あたりの経営耕地面積は、全国平均と比較して狭く、比較的規模が小さい。
2020年における経営耕地面積が1ha未満の比較的小規模な経営体の割合は、2015年と比較して4.29ポイント増加している。

【目的】 経営耕地面積と農地流動化率から農地が効率的に使われているかを確認しよう。

経営耕地面積（総面積）

指定地域：兵庫県宝塚市

農地区分：すべての農地区分



【出典】

農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】

農地流動化率＝借入耕地面積÷経営耕地面積

【参照メニュー】

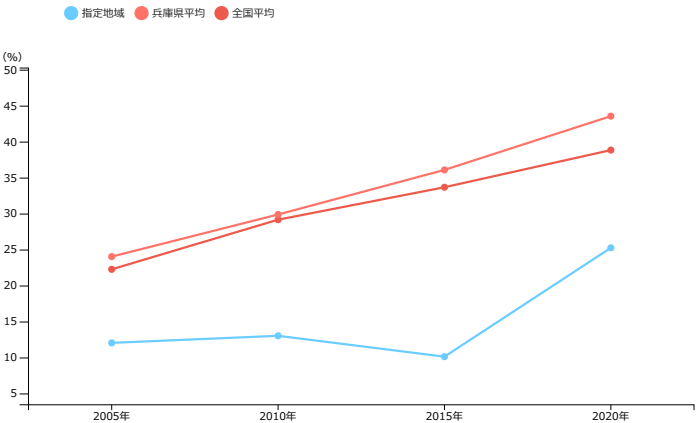
左図：産業構造マップ→農業→農地分析→経営耕地面積（総面積）

右図：産業構造マップ→農業→農地分析→農地流動化率

農地流動化率

指定地域：兵庫県宝塚市

農地区分：すべての農地区分



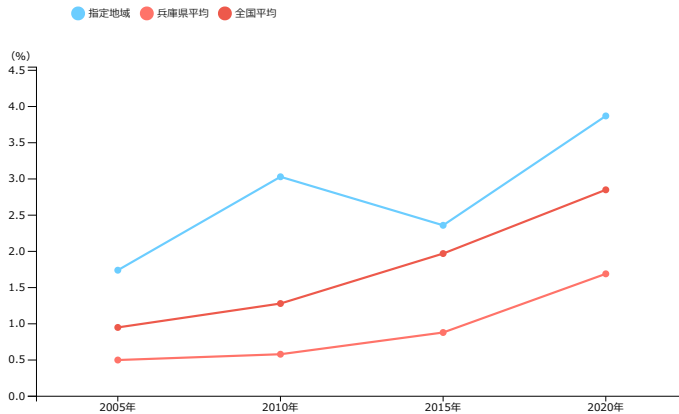
グラフから
読み取れること

2020年の経営耕地面積（総面積）は、2015年と比較して減少している。
2020年の「すべての農地区分」の農地流動化率は全国平均より低く、賃貸借を通じた農地の効率的利用が比較的遅れている。

【目的】経営体の法人化率を把握し、経営の発展が図られているかを確認しよう。

農業経営体の法人化率

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】
法人化率＝法人経営体数÷経営体数
法人とは、農事組合法人、会社、農協、森林組合等をいう。
【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農業者分析→農業経営体の法人化率

グラフから
読み取れること

2020年の農業経営体の法人化率は、全国平均より高い。
2015年と比較して農業経営体の法人化率は増加傾向であり、全国平均と比較して増加幅が大きい。

【目的】農産物の産出以外に実施している農業生産関連事業について確認しよう。

農業生産関連事業の実施状況(レーダーチャート)

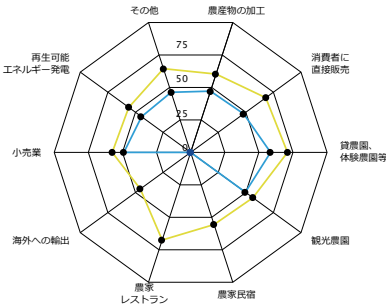
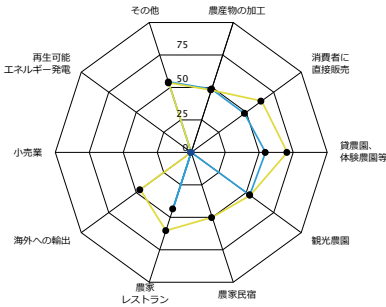
指定地域：兵庫県宝塚市

2015年

2020年

指定地域 兵庫県平均

指定地域 兵庫県平均



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
レーダーチャートは各関連事業を実施している経営体数を偏差値化して表示。
松匠値の場合は赤い点。データがない場合は青い点が表示。

農業生産関連事業：以下のいずれかの取組。
①農産物の加工②消費者に直接販売③貸し農園・体験農園等
④観光農園⑤農家民宿⑥農業レストラン⑦海外への輸出（2010年以降）
⑧小売業（2020年のみ）⑨再生可能エネルギー発電（2020年のみ）⑩その他
偏差値は以下式で算出。
$$\text{偏差値} = 10 \left(\frac{\text{各事業を実施している経営体数} - \text{経営体数平均値}}{\text{標準偏差値}} \right) + 50$$

【参照メニュー】
産業構造マップ→農業→農業者分析→農業生産関連事業の実施状況→レーダーチャートを表示

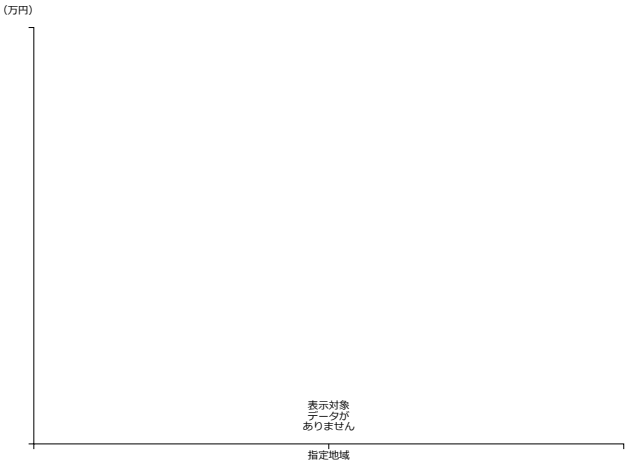
グラフから
読み取れること

2020年の農業生産関連事業の実施状況としては、「貸農園、体験農園等」が比較的進んでいる。

【目的】海面漁獲物等販売金額（総額）の状況を把握し、地域の漁業販売額の状況を確認しよう。

海面漁獲物等販売金額（総額）

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】
農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】
販売金額＝Σ（各階層中位数×各階層経営体数）。最上位層の中位数は、16億円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。

【参照メニュー】
産業構造マップ→水産業→海面漁獲物等販売金額→グラフ表示

グラフから
読み取れること

表示対象データがありません。

兵庫県宝塚市

分析対象	表示年	全国平均	都道府県平均	対象自治体	比較自治体
農業産出額（億円）	2020年	1,901	35	17	
経営耕地面積（総面積）（a）	2020年	データ無し	データ無し	28,128（-10,386）	
経営耕地面積（経営体あたり）（a）	2020年	305（+51）	124（+16）	85（-16）	
農地流動化率（％）	2020年	38.89（+5.16）	43.61（+7.47）	25.31（+15.13）	
平均年齢（歳）	2020年	67（+1）	68（+1）	68（+3）	
最も割合の高い農業経営者の年齢構成	2020年	65-74歳	65-74歳	65-74歳	
法人化率（％）	2020年	2.85（+0.88）	1.69（+0.81）	3.87（+1.51）	

※（）内の値は5年前と比較した時の変動値

【出典】

農業産出額

全国単位：農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」

都道府県単位：農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」

市区町村単位：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

経営体数

農林水産省「農林業センサス」

【注記】

「農業産出額」行の「都道府県平均」列の値は、産出額のデータがある市区町村のみを分母として算出している。

まとめの見方

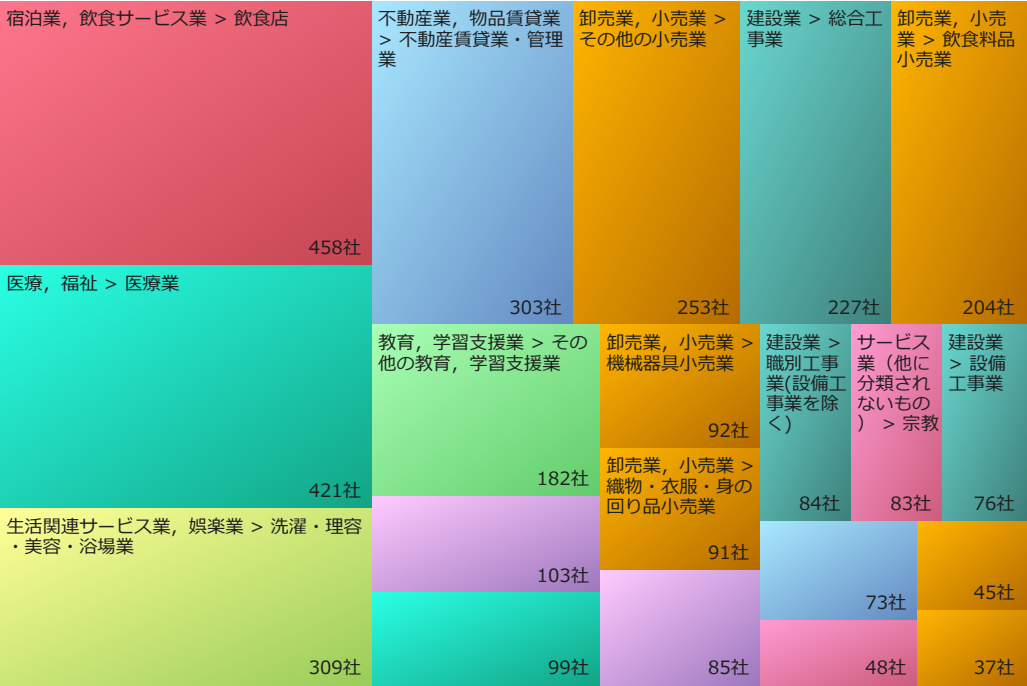
- ・全国平均より低い項目を把握し、施策に役立てる。
- ・5年前より値が下がっている項目を把握し、施策に役立てる。

【目的】地域の産業の全体像を把握しよう。

2016年 企業数(企業単位) 中分類

兵庫県宝塚市

企業数(企業単位)：3,830社

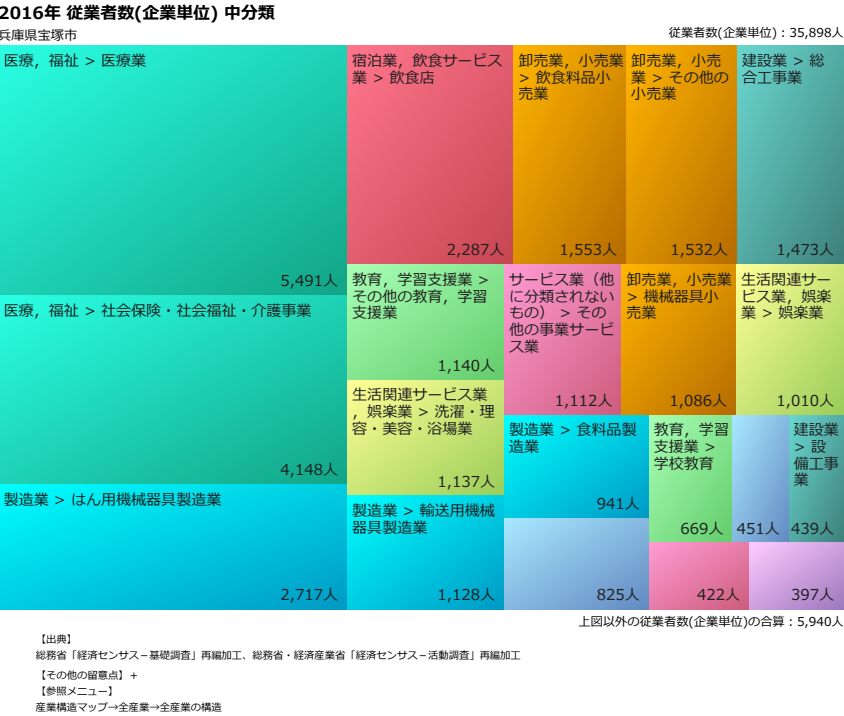


上図以外の企業数(企業単位)の合算：557社

【出典】
総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
【その他の留意点】+
【参照メニュー】
産業構造マップ→全産業→全産業の構造

グラフ
の見方

企業数・従業者数・売上高・付加価値額などの観点から、各産業分類が占める割合を確認する。

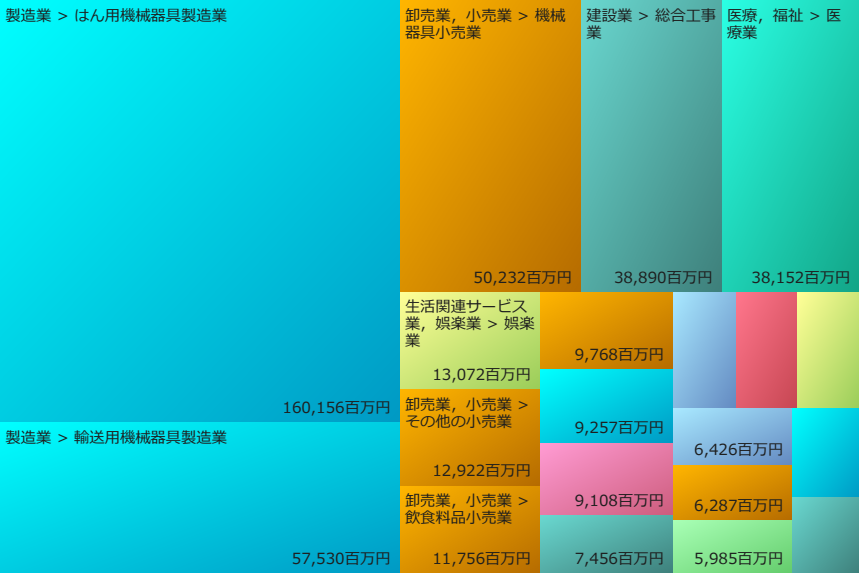


【目的】地域の産業の全体像を把握しよう。

2016年 売上高(企業単位) 中分類

兵庫県宝塚市

売上高(企業単位) : 540,094百万円



上図以外の売上高(企業単位)の合算 : 72,053百万円

【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工
【注記】
● 売上高の金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。
【その他の留意点】 +
【参照メニュー】
産業構造マップ→全産業→全産業の構造

グラフ
の見方

企業数・従業者数・売上高・付加価値額などの観点から、各産業分類が占める割合を確認する。

2016年 付加価値額(企業単位) 中分類

兵庫県宝塚市

付加価値額(企業単位)：137,470百万円



上図以外の付加価値額(企業単位)の合算：31,134百万円

【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

- 付加価値額 = 売上高 - 費用総額 + 給与総額 + 租税公課 (費用総額 = 売上原価 + 販売費及び一般管理費)
- 付加価値額の金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

【その他の留意点】 +

【参照メニュー】

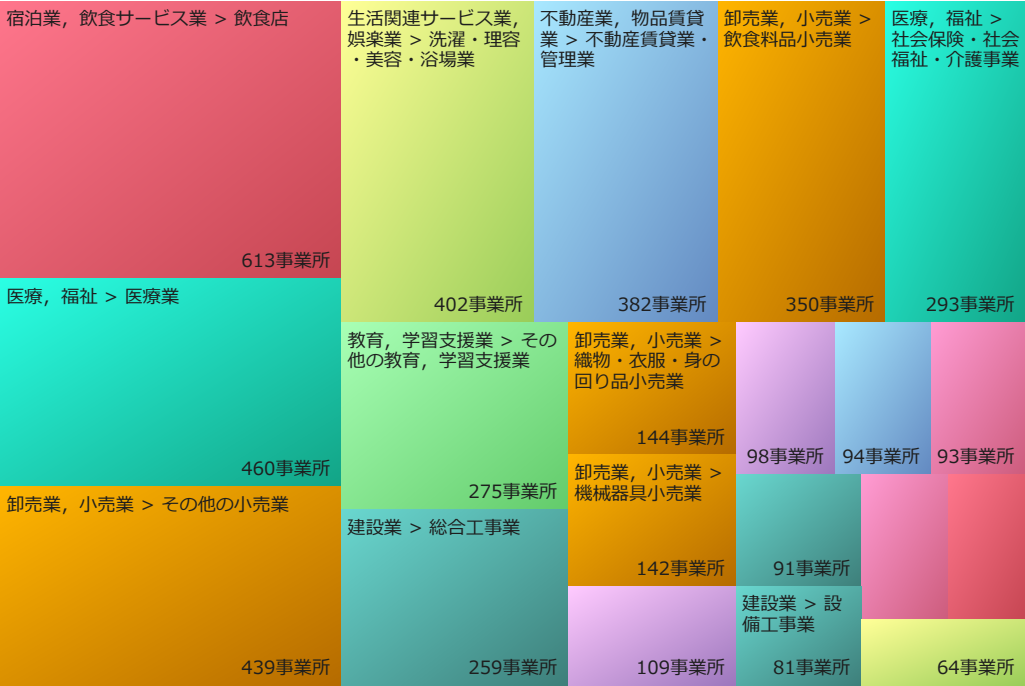
産業構造マップ→全産業→全産業の構造

【目的】地域の産業の全体像を把握しよう。

2016年 事業所数(事業所単位) 中分類

兵庫県宝塚市

事業所数(事業所単位) : 5,423事業所



上図以外の事業所数(事業所単位)の合算 : 880事業所

【出典】
総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

【注記】
事業所数については、事業内容等不詳を除く民営事業所について集計したものである。

【その他の留意点】 +
【参照メニュー】
産業構造マップ→全産業→全産業の構造

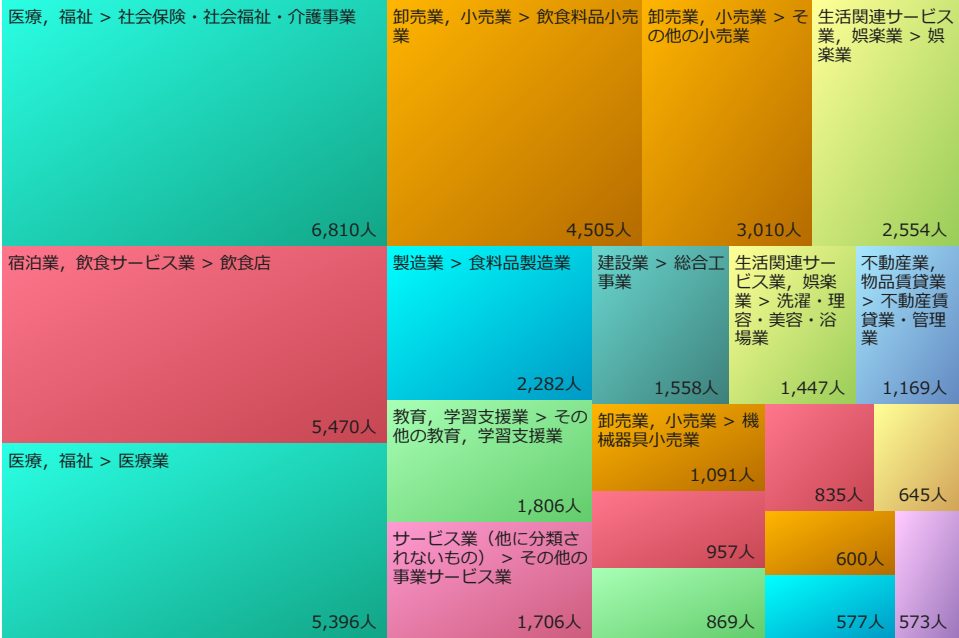
グラフ
の見た

企業数・従業者数・売上高・付加価値額などの観点から、各産業分類が占める割合を確認する。

2016年 従業者数(事業所単位) 中分類

兵庫県宝塚市

従業者数(事業所単位)：54,498人



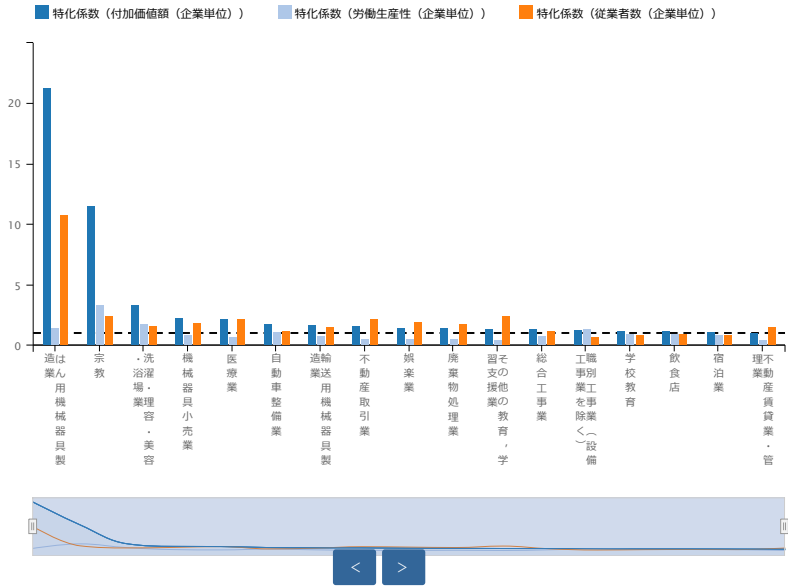
上図以外の従業者数(事業所単位)の合算：10,638人

【出典】
総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工
【注記】
本社で働く事業所の従業者も事業所で計上。
従業者数については、事業内容等不詳を除く民営事業所の従業者について集計したものである。
【その他の留意点】＋
【参照メニュー】
産業構造マップ→全産業→全産業の構造

【目的】付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業を把握しよう。

産業別特化係数
2016年

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

【注記】

特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合
は、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

特化係数の算出式は下記のとおり

・「特化係数（付加価値額）」

=（域内における当該産業の付加価値額÷域内における全産業の付加価値額）÷（全国の当該産業の付加価値額÷全国全産業の付加価値額）

・「特化係数（従業者数）」=（域内における当該産業の従業者数÷域内における全産業の従業者数）÷（全国の当該産業の従業者数÷全国全産業の従業者数）

・「特化係数（労働生産性）」=（域内における当該産業の労働生産性）÷（全国の当該産業の労働生産性）

労働生産性=付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）

付加価値額および労働生産性については、経理事項集計対象外企業を除外して集計。

平成24年経済センサス活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。

福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯沼村

経済センサス活動調査では、各事業所（企業等）の産業分類を、売上（収入）金額の最も多い産業（主業）に格付けられているが、回答内容の不備等により産業分類の
格付が十分に行なわれなかった事業所（企業等）についてはダウンロードデータに含めていない。ただし、上位分類の合計には含めているため内訳の合計と上位分類の
数値が一致しないことがある。

【参照メニュー】

産業構造マップ→全産業→稼ぐ力分析→グラフ分析

グラフ
の見方

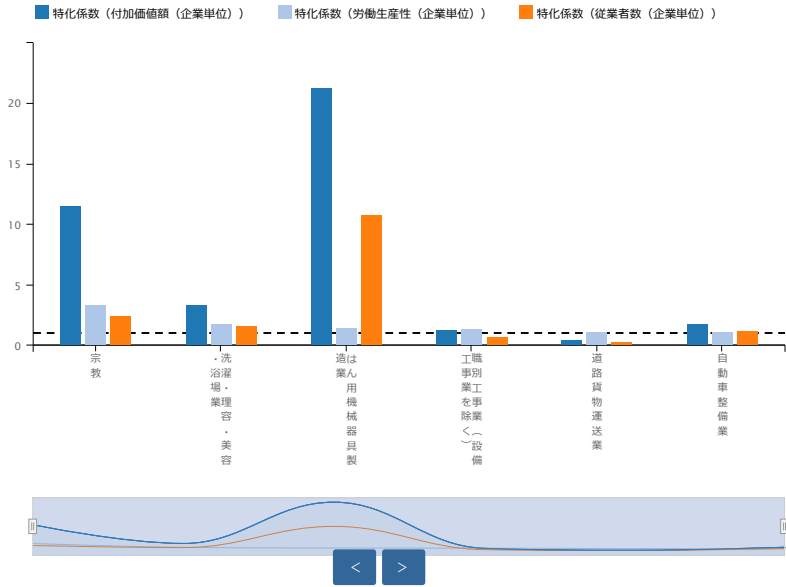
地域内の産業について、付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）がそれぞれ全国と比べて特化（1を超えている）しているか否かを見ることで、産業ごとの課題把握に役立てる。
グラフは従業者数（企業単位）の特化係数が1を超えている産業について、従業者数（企業単位）の特化係数に基づき左から降順で並べたもの。

【目的】付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業を把握しよう。

産業別特化係数

2016年

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

【注記】

特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合は、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

特化係数の算出式は下記のとおり

・「特化係数（付加価値額）」

=（域内における当該産業の付加価値額÷域内における全産業の付加価値額）÷（全国の当該産業の付加価値額÷全国全産業の付加価値額）

・「特化係数（従業者数）」=（域内における当該産業の従業者数÷域内における全産業の従業者数）÷（全国の当該産業の従業者数÷全国全産業の従業者数）

・「特化係数（労働生産性）」=（域内における当該産業の労働生産性）÷（全国の当該産業の労働生産性）

労働生産性=付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）

付加価値額および労働生産性については、経理事項集計対象外企業を除外して集計。

平成24年経済センサス－活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。

福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯沼村

経済センサス活動調査では、各事業所（企業等）の産業分類を、売上（収入）金額の最も多い産業（主業）に格付けられているが、回答内容の不備等により産業分類の格付が十分に行なわれなかった事業所（企業等）についてはダウンロードデータに含めていない。ただし、上位分類の合計には含めているため内訳の合計と上位分類の数値が一致しないことがある。

【参照メニュー】

産業構造マップ→全産業→稼ぐ力分析→グラフ分析

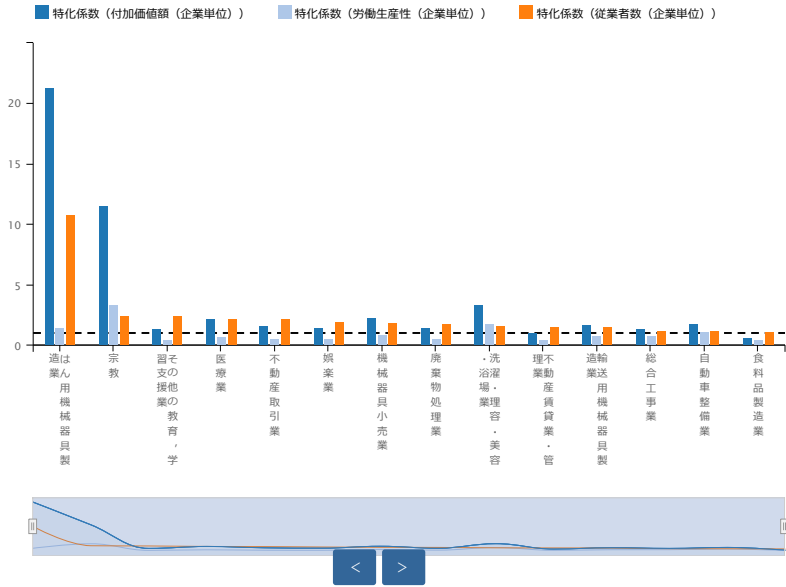
グラフ
の見方

地域内の産業について、付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）がそれぞれ全国と比べて特化（1を超えている）しているか否かを見ることで、産業ごとの課題把握に役立てる。
グラフは従業者数（企業単位）の特化係数が1を超えている産業について、従業者数（企業単位）の特化係数に基づき左から降順で並べたもの。

【目的】付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業を把握しよう。

産業別特化係数 2016年

指定地域：兵庫県宝塚市



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

【注記】

特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合
は、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

特化係数の算出式は下記のとおり

・「特化係数（付加価値額）」

=（域内における当該産業の付加価値額÷域内における全産業の付加価値額）÷（全国の当該産業の付加価値額÷全国の全産業の付加価値額）

・「特化係数（従業者数）」=（域内における当該産業の従業者数÷域内における全産業の従業者数）÷（全国の当該産業の従業者数÷全国の全産業の従業者数）

・「特化係数（労働生産性）」=（域内における当該産業の労働生産性）÷（全国の当該産業の労働生産性）

労働生産性=付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）

付加価値額および労働生産性については、経理事項集計対象外企業を除外して集計。

平成24年経済センサス－活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。

福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯沼村

経済センサス活動調査では、各事業所（企業等）の産業分類を、売上（収入）金額の最も多い産業（主業）に格付けられているが、回答内容の不備等により産業分類の格付が十分に行なわれなかった事業所（企業等）についてはダウンロードデータに含めていない。ただし、上位分類の合計には含めているため内訳の合計と上位分類の数値が一致しないことがある。

【参照メニュー】

産業構造マップ→全産業→稼ぐ力分析→グラフ分析

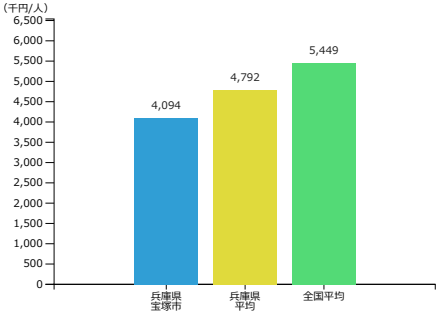
グラフ
の見方

地域内の産業について、付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）がそれぞれ全国と比べて特化（1を超えている）しているか否かを見ることで、産業ごとの課題把握に役立てる。
グラフは従業者数（企業単位）の特化係数が1を超えている産業について、従業者数（企業単位）の特化係数に基づき左から降順で並べたもの。

【目的】特定産業の労働生産性を確認するとともに、参考とすべき自治体を把握しよう。

労働生産性（企業単位） 2016年

産業：すべての大分類 > すべての中分類

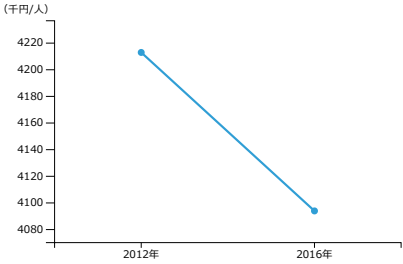


【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工
【注記】
付加価値額÷従業員数で算出。
【その他の留意点】 +
【参照メニュー】
産業構造マップ→全産業→労働生産性（企業単位）→グラフを表示

労働生産性（企業単位）の推移

産業：すべての大分類 > すべての中分類

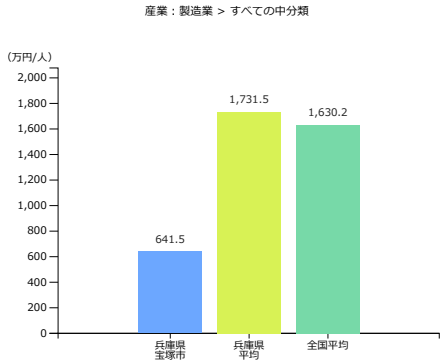
● 兵庫県宝塚市



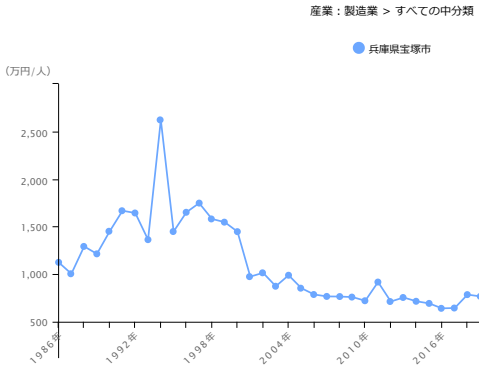
グラフ
の見方

- ・類似自治体等と比較して、労働生産性が高いのか、低いのかを把握する。（左図）
- ・労働生産性の推移を、類似自治体と比較しつつ、把握する。（右図）
- ・より高い生産性を実現している自治体や労働生産性が向上している自治体等を把握することで、新たな取り組みを検討する上での参考とする。

労働生産性（製造業の事業所単位） 2016年



労働生産性（製造業の事業所単位）の推移



【出典】
経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

【注記】
労働生産性＝付加価値額÷常用従業員数

付加価値額（従業員30人以上の場合）
＝製造品出荷額等
－（原材料使用額＋燃料使用額＋電力使用額）
＋（年末在庫製造品－年初在庫製造品）＋（年末在庫半製品－年初在庫半製品）
－（国内消費税額＋推計消費税額）

付加価値額（従業員29人以下の場合）
＝製造品出荷額等－原材料使用額等－（国内消費税額＋推計消費税額）

製造品出荷額等＝製造品出荷額計＋加工費収入額計＋修理料収入額＋その他収入額計

常用従業員数は、個人事業主、無給家族従業員、及び臨時雇用者を除く従業員数

【その他の留意点】＋

グラフ
の見た

- ・類似自治体等と比較して、労働生産性が高いのか、低いのかを把握する。（左図）
- ・労働生産性の推移を、類似自治体と比較しつつ、把握する。（右図）
- ・より高い生産性を実現している自治体や労働生産性が向上している自治体等を把握することで、新たな取り組みを検討する上での参考とする。

製造業における製造品出荷額と従業者数の変遷

指定地域：兵庫県宝塚市
() 内は上位10業種の占める割合

1999年

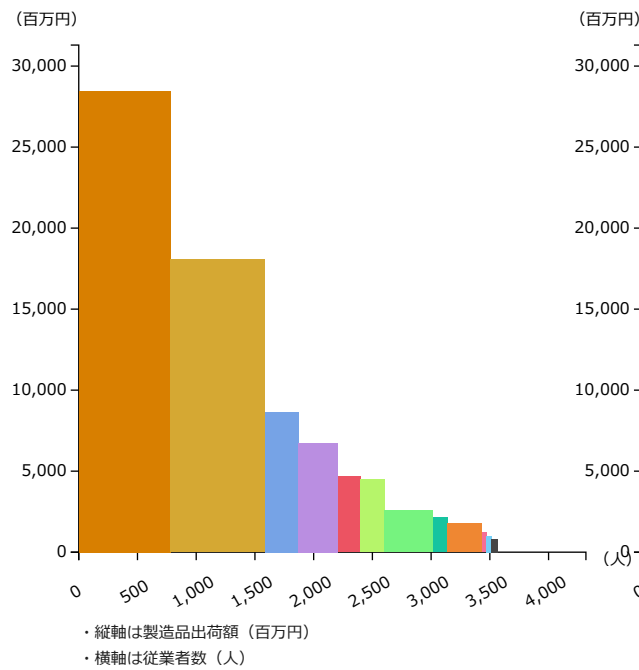
製造品出荷額計：123,770.63百万円（63%）
従業者数計：4,318人（87%）

2009年

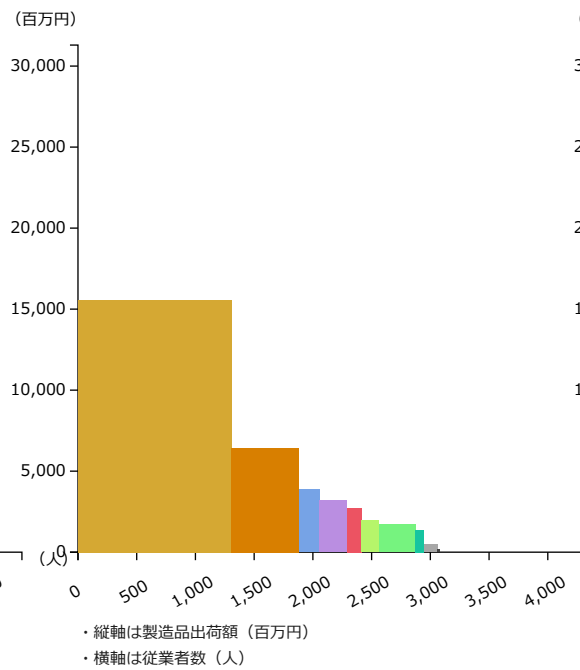
製造品出荷額計：46,325.57百万円（80%）
従業者数計：3,401人（91%）

2019年

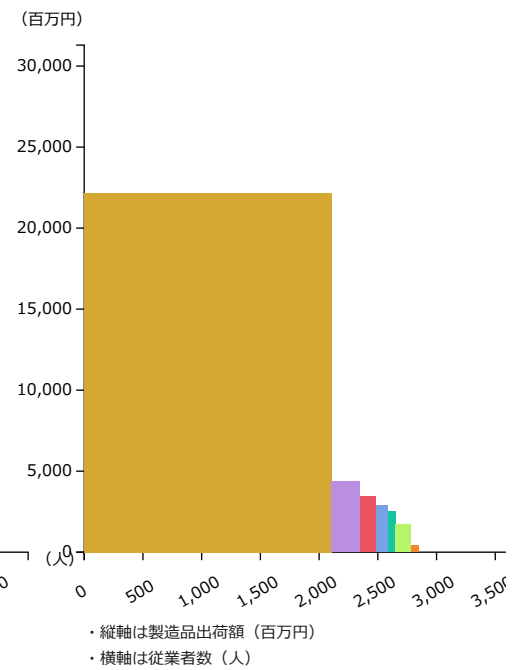
製造品出荷額計：77,248.67百万円（48%）
従業者数計：3,844人（96%）



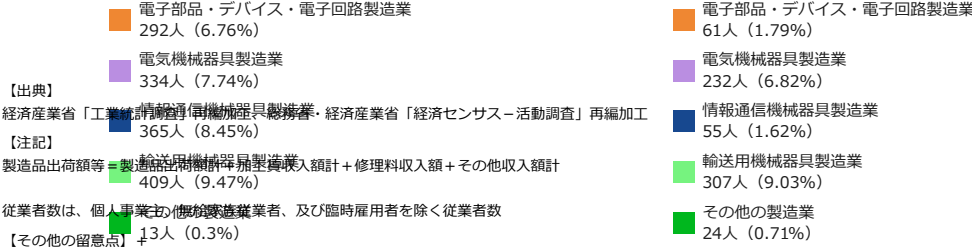
食料品製造業	808人（18.71%）
繊維工業	285人（6.6%）
木材・木製品製造業（家具を除く）	36人（0.83%）
家具・装備品製造業	7人（0.16%）
パルプ・紙・紙加工品製造業	44人（1.02%）
印刷・同関連業	57人（1.32%）
化学工業	103人（2.39%）
石油製品・石炭製品製造業	5人（0.12%）
プラスチック製品製造業（別掲を除く）	190人（4.4%）
なめし革・同製品・毛皮製造業	7人（0.16%）
窯業・土石製品製造業	39人（0.9%）
鉄鋼業	114人（2.64%）
非鉄金属製造業	92人（2.13%）
金属製品製造業	206人（4.77%）
はん用機械器具製造業	781人（18.09%）
生産用機械器具製造業	127人（2.94%）
業務用機械器具製造業	4人（0.09%）



食料品製造業	1,311人（38.55%）
繊維工業	174人（5.12%）
木材・木製品製造業（家具を除く）	4人（0.12%）
家具・装備品製造業	5人（0.15%）
パルプ・紙・紙加工品製造業	10人（0.29%）
印刷・同関連業	20人（0.59%）
化学工業	61人（1.79%）
石油製品・石炭製品製造業	5人（0.15%）
プラスチック製品製造業（別掲を除く）	125人（3.68%）
なめし革・同製品・毛皮製造業	17人（0.5%）
窯業・土石製品製造業	9人（0.26%）
鉄鋼業	14人（0.41%）
非鉄金属製造業	55人（1.62%）
金属製品製造業	153人（4.5%）
はん用機械器具製造業	571人（16.79%）
生産用機械器具製造業	69人（2.03%）
業務用機械器具製造業	119人（3.5%）



食料品製造業	2,103人（54.71%）
繊維工業	99人（2.58%）
化学工業	21人（0.55%）
石油製品・石炭製品製造業	4人（0.1%）
プラスチック製品製造業（別掲を除く）	135人（3.51%）
なめし革・同製品・毛皮製造業	19人（0.49%）
窯業・土石製品製造業	3人（0.08%）
鉄鋼業	11人（0.29%）
非鉄金属製造業	46人（1.2%）
金属製品製造業	133人（3.46%）
はん用機械器具製造業	298人（7.75%）
生産用機械器具製造業	68人（1.77%）
業務用機械器具製造業	22人（0.57%）
電子部品・デバイス・電子回路製造業	63人（1.64%）
電気機械器具製造業	246人（6.4%）
情報通信機械器具製造業	58人（1.51%）
輸送用機械器具製造業	490人（12.75%）



縦軸が製造品出荷額（事業所単位）、横軸が従業員数（事業所単位）。
地域の製造業に係る構造の特徴や変遷を確認し、地域の産業振興の検討に役立てる。

【目的】主要産業の状況を確認し、効果的な施策検討につなげよう。

2016年 兵庫県宝塚市

↑ 特化係数が1（全国平均）以上
↓ 特化係数が1（全国平均）未満

産業	売上高（企業単位） 実数（百万円）	付加価値額（企業単位） 実数（百万円） （特化係数）	労働生産性（企業単位） 実数（千円/人） （特化係数）	従業者数（企業単位） 実数（人） （特化係数）
はん用機械器具製造業	160,156	↑ 29,875 (21.31)	↑ 10,996 (1.42)	↑ 2,717 (10.80)
輸送用機械器具製造業	57,530	↑ 8,845 (1.65)	↓ 7,877 (0.79)	↑ 1,128 (1.51)
機械器具小売業	50,232	↑ 5,480 (2.27)	↓ 5,155 (0.89)	↑ 1,086 (1.83)
総合工事業	38,890	↑ 7,340 (1.34)	↓ 5,143 (0.81)	↑ 1,473 (1.22)
医療業	38,152	↑ 17,931 (2.20)	↓ 3,495 (0.75)	↑ 5,491 (2.20)

（注）表示対象は、従業者数（企業単位）の特化係数1以上の売上高上位5産業
（注）付加価値額、労働生産性は企業単位のデータのため、本社が当該自治体以外の企業のデータが含まれない場合がある

【出典】
総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工
【注記】
付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費
労働生産性＝付加価値額÷従業者数
従業者＝会社と個人事業所の従業者総数
【その他の留意点】＋

施策
検討例

- ①売上高、付加価値額に課題がある産業
- ・販路拡大へ向けた新たなプロモーションを検討してみてもいいかがでしょうか。
 - ・共通の産業に強みを持つ近隣自治体と連携し、同業種企業連携によるシナジー効果を生み出す施策を検討してみてもいいかがでしょうか。
 - ・他産業とのコラボレーションにより、地域の強みを生かした新製品開発を検討してみてもいいかがでしょうか。
- ②労働生産性に課題がある産業
- ・当該産業の人材育成を実施する。また設備投資の促進施策を検討してみてもいいかがでしょうか。
- ③従業者数に課題がある産業
- ・労働者が魅力を感じるような産業を確立するための取り組み、施策を検討してみてもいいかがでしょうか。
 - ・雇用促進と所得向上を図るため、成長性のある産業の集積や関連企業の誘致を検討してみてもいいかがでしょうか。